

Nissan Chemical,  
where unique & solution meet

個人投資家の皆様へ  
日産化学工業(株)(証券コード:4021)  
会社説明会資料

説明者 日産化学工業(株)  
取締役副社長 宮崎純一

2018年2月8日



NISSAN CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.



# 会社概要①

## 1. 創業：1887年(明治20年)

高峰譲吉、渋沢栄一、益田孝らの明治の先覚者により、我が国初の化学肥料製造会社である東京人造肥料会社として創業、その後様々な化学分野に展開

## 2. 普通株式/資本金：

151百万株/18,942百万円 (2017年9月現在) 東証1部上場

## 3. 従業員数：連結2,402人 単体1,772人 (2017年3月現在)

## 4. 主な事業内容：

(1)機能性材料事業 (ディスプレイ材料、半導体材料、無機コロイド等)

(2)農業化学品事業 (農薬、動物用医薬品等)

(3)医薬品事業 (自社創薬、原薬・中間体製造/プロセス研究/GE原薬供給等)

(4)化学品事業 (アンモニア・硫酸系基礎化学品、ファインケミカル等)

## 会社概要②

### 5. 国内生産拠点:

袖ヶ浦、埼玉、富山、名古屋、小野田工場

### 6. 国内研究所:

物質科学研究所(船橋市)、生物科学研究所(白岡市)

材料科学研究所(船橋市、袖ヶ浦市、富山市)

### 7. 海外拠点(連結子会社):

Nissan Chemical Europe (仏、リヨン)

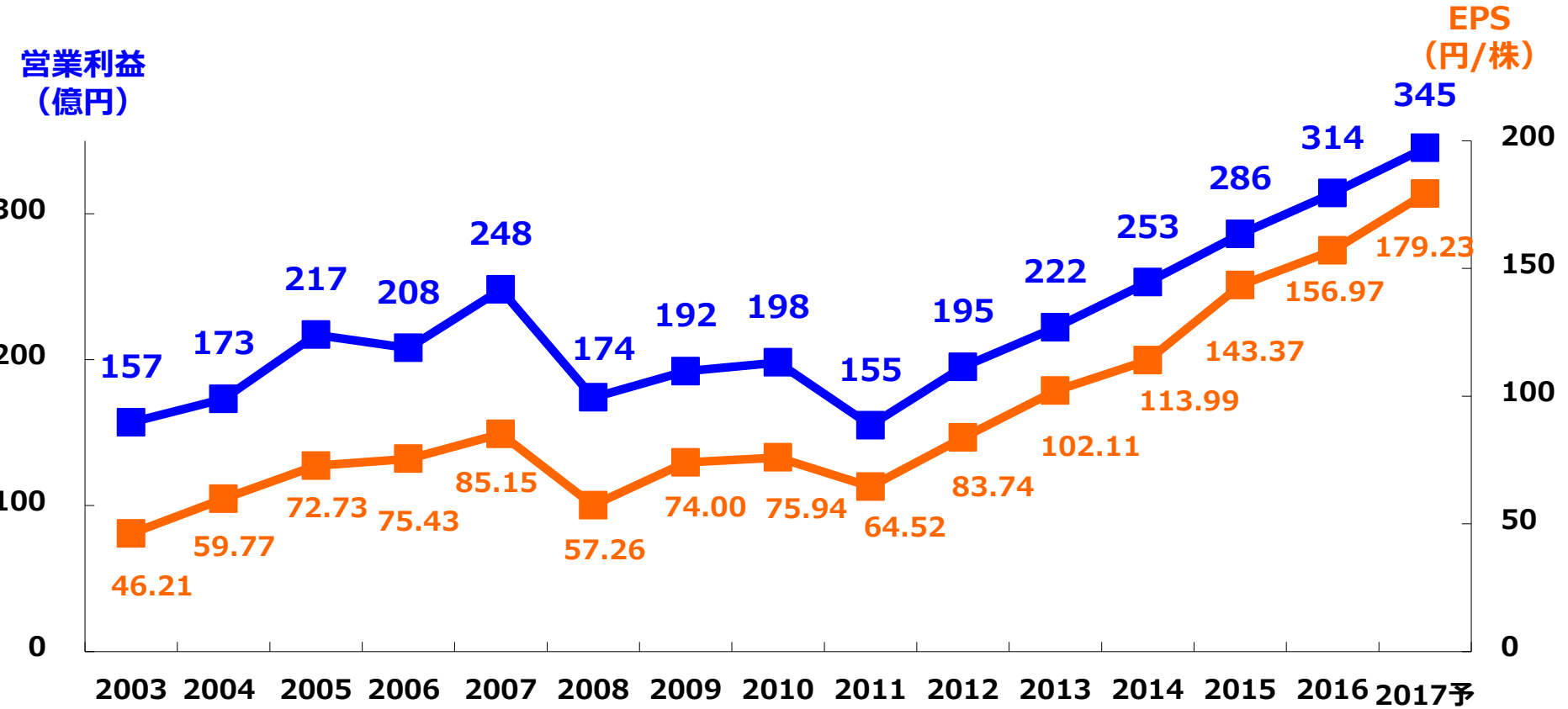
NCK Co.,Ltd(韓、平沢)

Nissan Chemical America Corporation (米、ヒューストン)

# 長期業績推移① 営業利益・EPS

## 2011年度以降、一貫して上昇

※EPS：一株当たり当期純利益(Earnings Per Share)(=当期純利益÷発行済み株式数)



※本資料における「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す  
※本資料における「2017予想」は、2017年11月6日発表ベース

# 長期業績推移② 主要数値

売上高（3年連続）、営業利益・経常利益（4年連続）、当期純利益（5年連続）  
それぞれ過去最高を更新

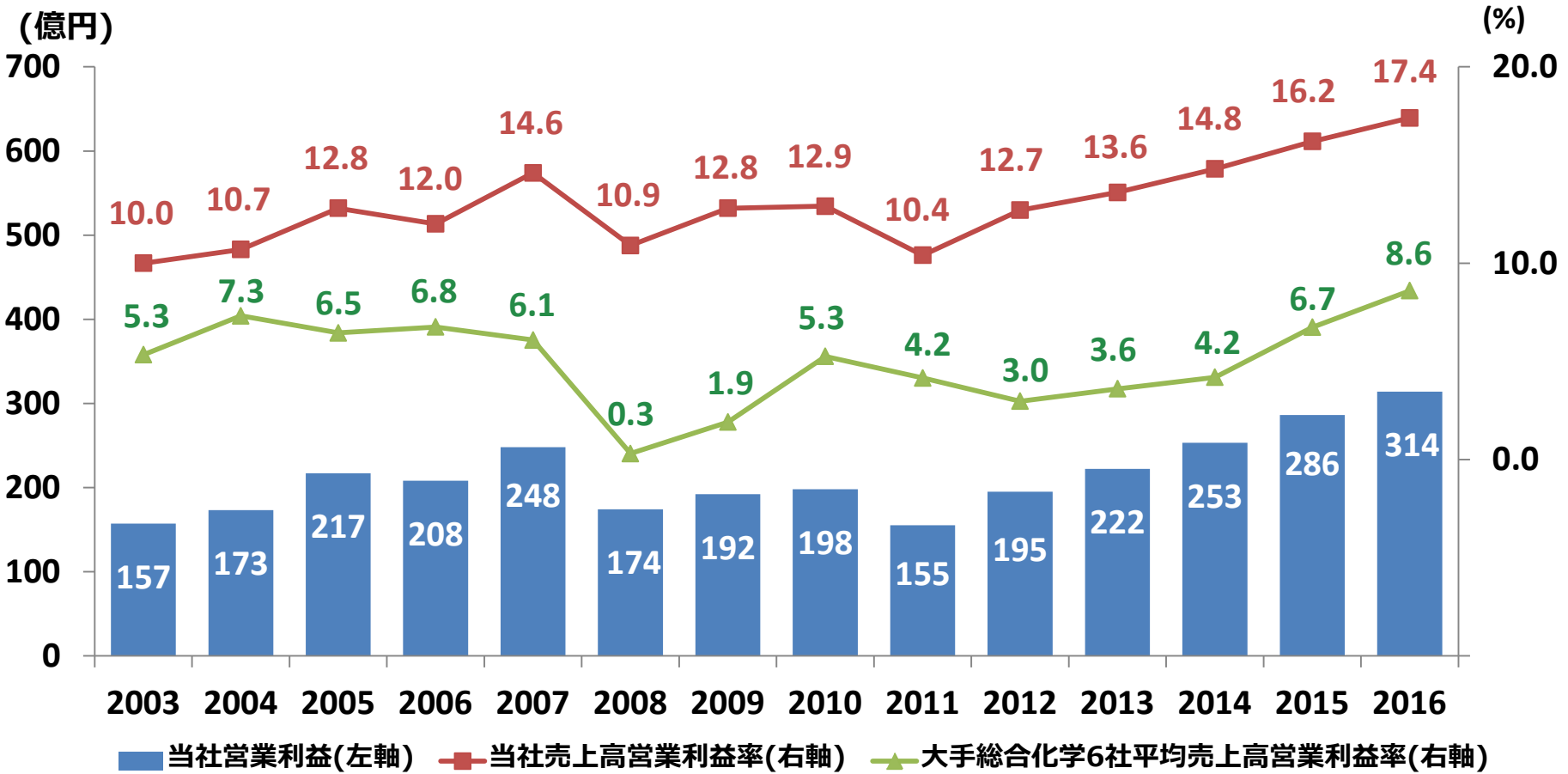
(億円)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017予
売上高	1,559	1,614	1,691	1,744	1,692	1,602	1,490	1,542	1,486	1,538	1,637	1,712	1,769	1,803	1,920
営業利益	157	173	217	208	248	174	192	198	155	195	222	253	286	314	345
経常利益	146	174	213	212	244	169	192	194	159	205	237	264	295	317	361
当期純利益	87	113	137	140	155	101	128	130	110	139	167	182	224	240	270
売上高営業利益率	10.0%	10.7%	12.8%	12.0%	14.6%	10.9%	12.8%	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.0%
ROE	13.4%	15.2%	16.1%	14.7%	15.6%	10.3%	12.6%	11.9%	9.5%	11.4%	12.7%	12.7%	14.6%	15.1%	15.9%
EPS (円/株)	46.21	59.77	72.73	75.43	85.15	57.26	74.00	75.94	64.52	83.74	102.11	113.99	143.37	156.97	179.23
配当 (円/株)	11	11	15	20	20	22	24	24	24	26	30	36	44	52	66
配当性向	23.8%	18.4%	20.6%	26.5%	23.5%	38.4%	32.4%	31.6%	37.2%	31.0%	29.4%	31.6%	30.7%	33.1%	36.8%
総資産	1,726	1,694	1,832	1,773	1,727	1,723	1,814	1,834	1,901	1,992	2,080	2,239	2,282	2,317	-
純資産	704	800	936	993	1,012	968	1,077	1,124	1,196	1,267	1,378	1,513	1,569	1,637	-
自己資本比率	40.1%	46.4%	50.2%	55.3%	58.0%	55.5%	58.7%	60.7%	62.4%	63.0%	65.7%	66.9%	68.1%	69.9%	-
R&D費用	87	86	92	99	125	137	131	126	136	137	142	150	158	161	174
同 売上高比率	5.6%	5.3%	5.4%	5.7%	7.4%	8.6%	8.8%	8.2%	9.2%	8.9%	8.7%	8.7%	8.9%	8.9%	9.0%

# 当社の特徴① 売上高営業利益率

1. 長期にわたり安定的かつ高い売上高営業利益率を維持  
 (2003年度以降14年連続10%以上)

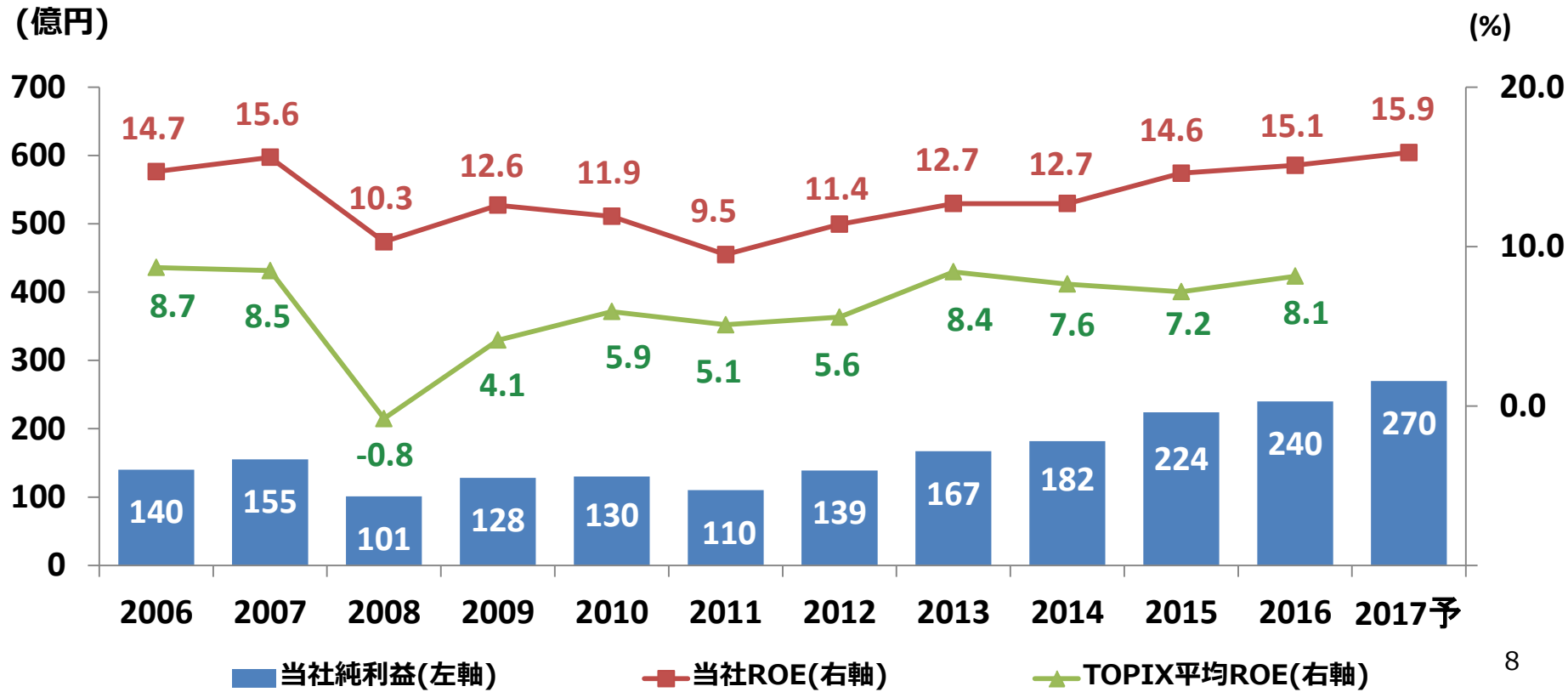
※売上高営業利益率(営業利益÷売上高 売上高に対する営業利益の比率)



# 当社の特徴② ROE

2. ROEを従前より最重要の経営指標とし、高水準維持  
2016年度以降は14%以上維持を目標とする  
(2016年度実績15.1%、2017年度予想15.9%)

※ROE(Return on Equity : 当期純利益÷自己資本)





## 当社の特徴③ 株主還元

### 3. 株主の皆様への積極的な利益還元

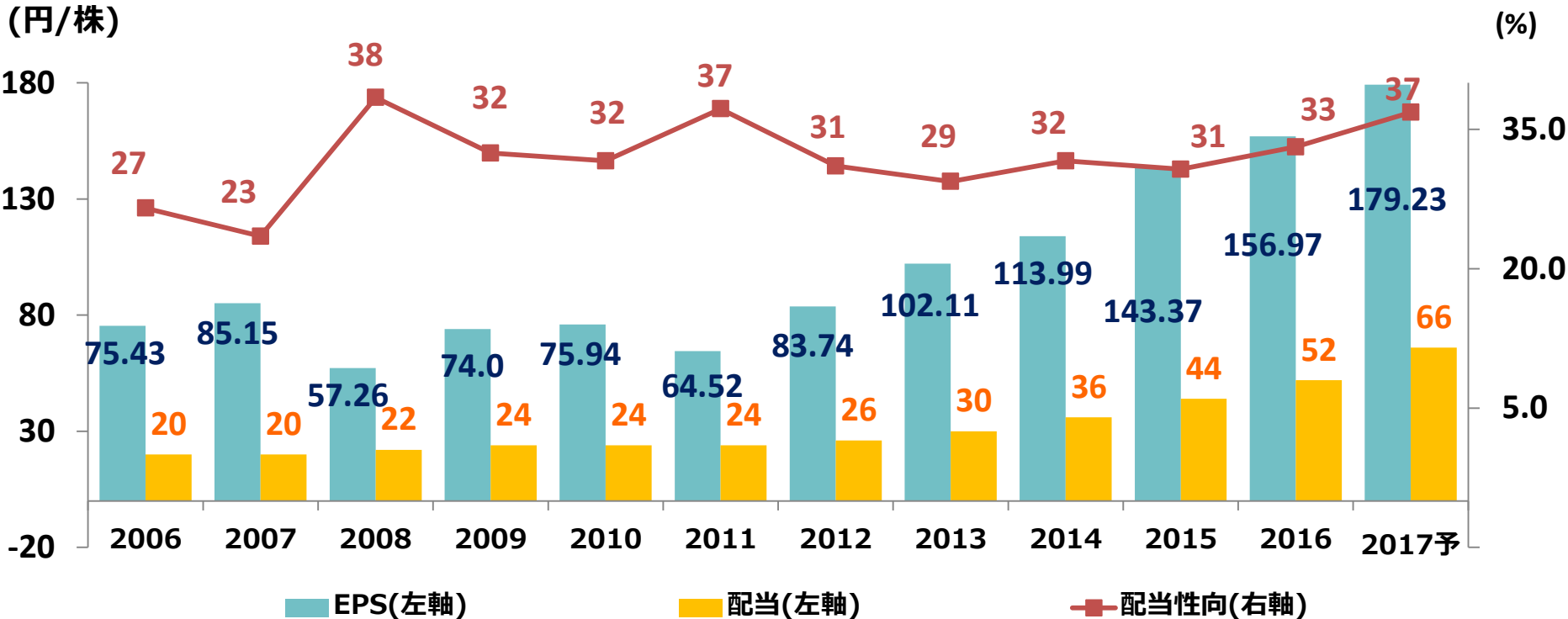
#### 3-1) 配当性向（=配当/一株当たり当期純利益（EPS））

- ◆ 2015年度までは、30%前後で配当してきた
- ◆ 2016年度から段階的に引き上げ、  
2018年度以降は40%を目標  
(2016年度実績33.1%、2017年度予想36.8%)

# 当社の特徴④ 株主還元

## ◆ EPS、配当、配当性向

※EPS：一株当たり当期純利益(Earnings Per Share)(=当期純利益÷発行済み株式数)



# 当社の特徴⑤ 株主還元

## 3-2) 自己株式取得

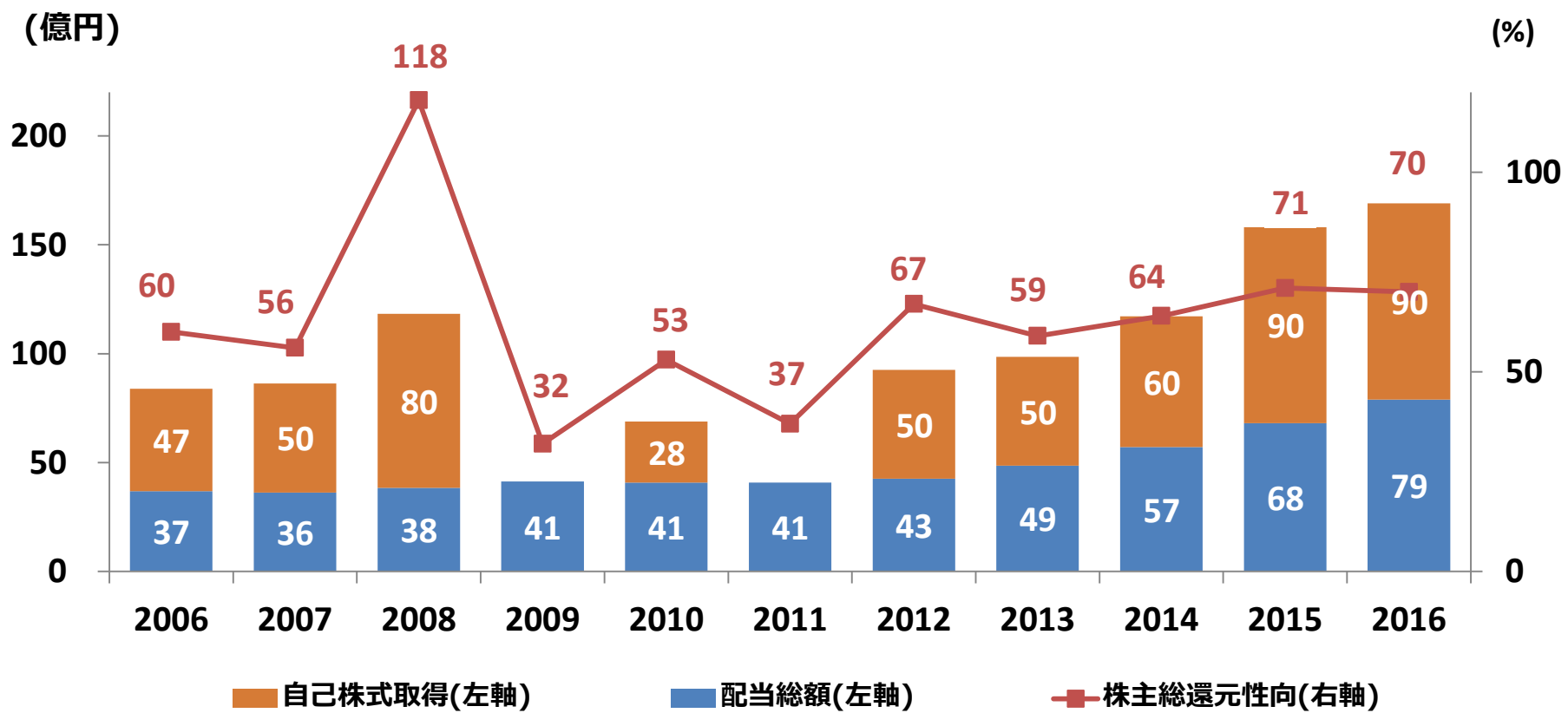
- ◆ ROE向上を目的に、2006年度から継続して実施し、取得株は基本的に取得した年度に消却する方針
- ◆ 2006-17年度  
取得総額595億円  
取得総数3,608万株（取得開始前発行済み株式数の19%）  
消却済株数3,664万株

## 3-3) 株主総還元性向 $((\text{配当総額} + \text{自己株式取得額}) \div \text{当期純利益})$

- ◆ 配当と自己株式取得による株主の皆様への積極的な利益還元の結果、近年は60%-70%で推移
- ◆ 2016年度以降は、株主総還元性向70%維持を目標（2016年度実績70.4%）

# 当社の特徴⑥ 株主還元

## ◆ 配当総額、自己株式取得額、株主総還元性向



# 当社の特徴⑦ 株主還元

## ◆ 2006-17年度 自己株式取得、消却実績

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	合計
自己株式取得総数 (千株) (1)	3,500	3,399	7,355	0	2,167	0	6,372	3,263	2,764	3,333	2,621	1,304	36,078
取得価額総額 (億円) (1)	47	50	80	0	28	0	50	50	60	90	90	50	595
自己株式消却総数 (千株)	3,000	3,635	7,000	0	3,000	0	6,000	4,000	3,000	2,000	2,000	3,000	36,635
発行済株式総数 (百万株)	185	181	174	174	171	171	165	161	158	156	154	151	
期末自己株式数 (千株) (2)	1,367	1,233	1,660	1,709	885	886	1,258	522	287	1,621	2,242		
株主総還元性向 (%) (3)	60	56	118	32	53	37	67	59	64	71	70		

(1) 単位未満株式買取を除く

(2) 単位未満株式を含む

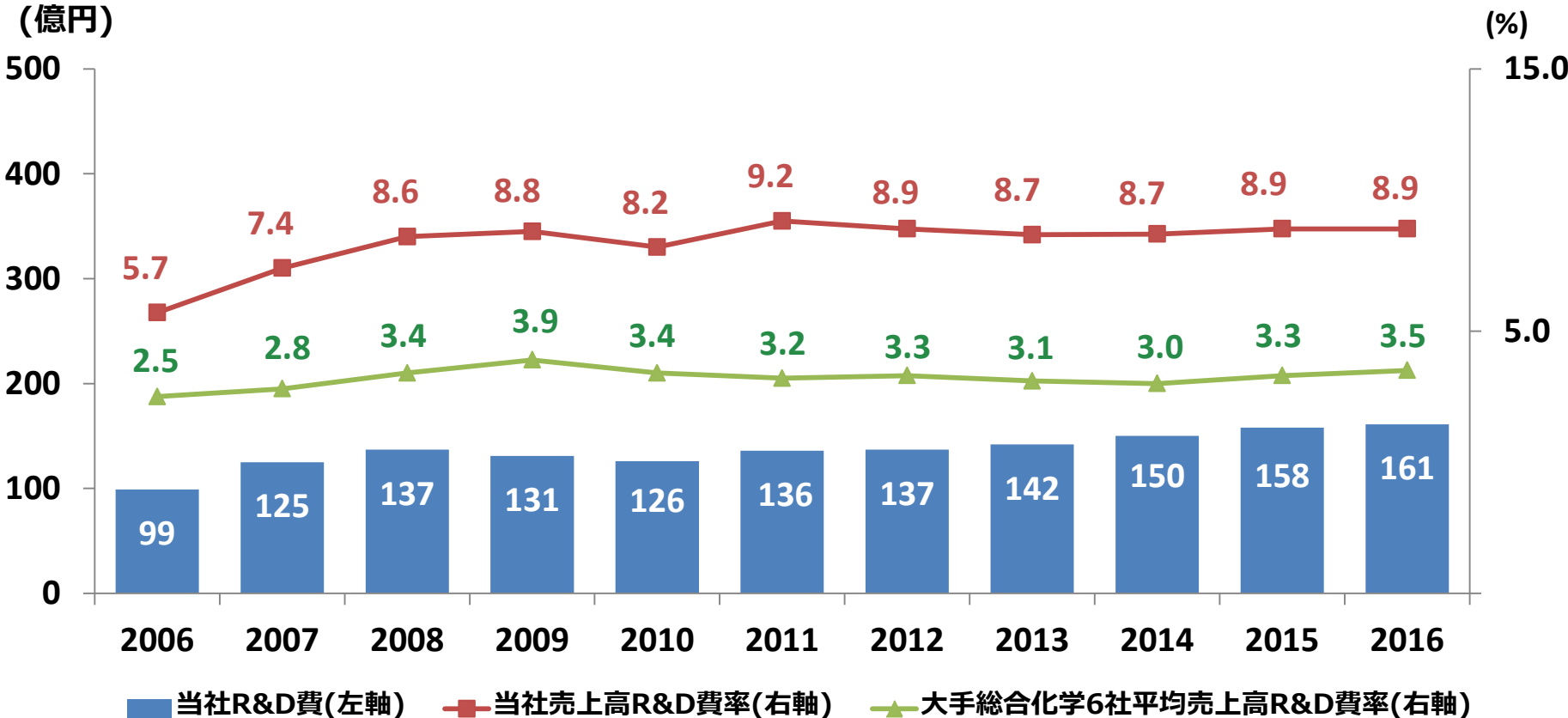
(3) 株主総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得額) ÷ 当期純利益

◆ 2018年2月2日発表 取得金額：40億円  
 取得株数：1,000千株  
 取得期間：2018年2月5日から2018年4月27日

# 当社の特徴⑧ 研究開発

## 4. 独自の革新的技術で社会の要請に応える未来創造企業

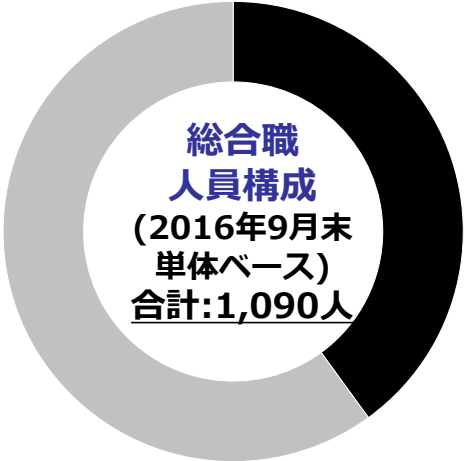
- ◆ R&Dを重視し、売上高R&D費率は8-9%と高水準を維持
- ◆ 総合職の約40%はR&D要員



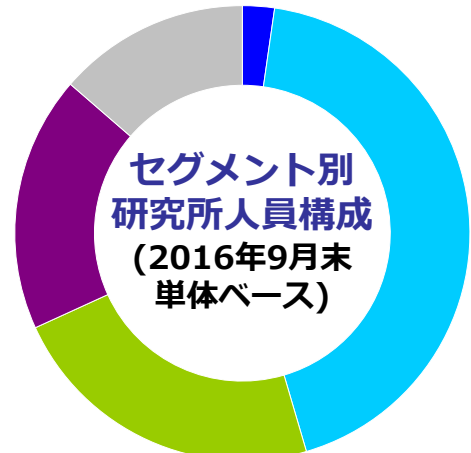
# 当社の特徴⑨ 研究開発

## ◆セグメント別研究開発費

セグメント	主要製品・分野	2016年度実績				
		売上高 (億円)	営業利益 (億円)	売上高 営業利益率(%)	R&D費 (億円)	売上高 R&D費率(%)
化学品	アンモニア系製品、硫酸系製品 ファインケミカル	348	38	10.9	5	1.4
機能性材料	液晶ディスプレイ用配向膜 半導体反射防止材	528	125	23.7	79	15.0
農業化学品	農薬	520	132	25.4	38	7.3
医薬品	リパロ、ファインテック	80	17	21.3	22	27.5
コーポレート他		-	-	-	17	-
その他共合計		1,803	314	17.4	161	8.9



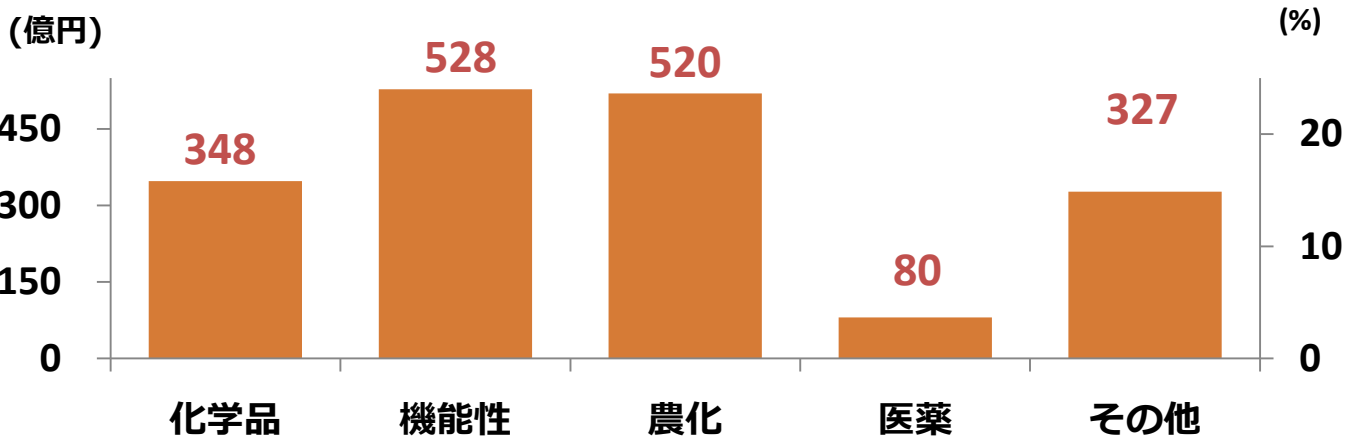
- 研究所 40%
- その他 60%



- 化学品
- 機能性材料
- 農業化学品
- 医薬品
- コーポレート他

# 当社の事業構成① 2016年度

## 2016年度 売上高



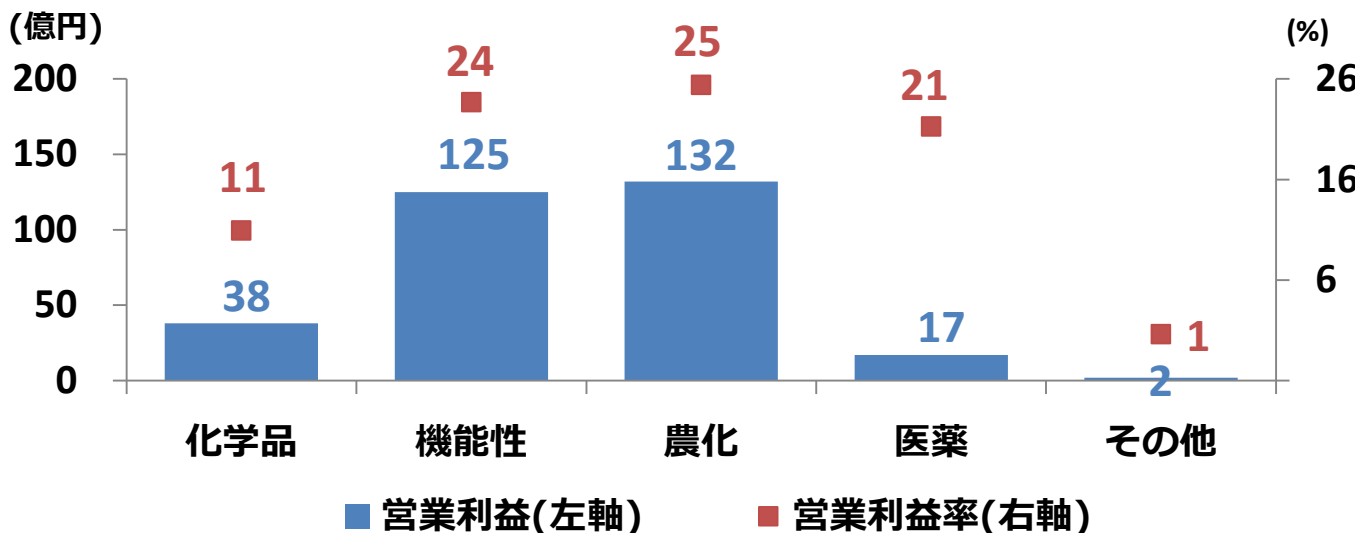
- 化学品
- ・アンモニア
  - ・硫酸系基礎化学品
  - ・ファインケミカル

- 機能性材料
- ・液晶ディスプレイ材料
  - ・半導体材料
  - ・無機コロイド

- 農業化学品
- ・農薬
  - ・動物用医薬品

- 医薬品
- ・自社創薬
  - ・原薬開発サポート

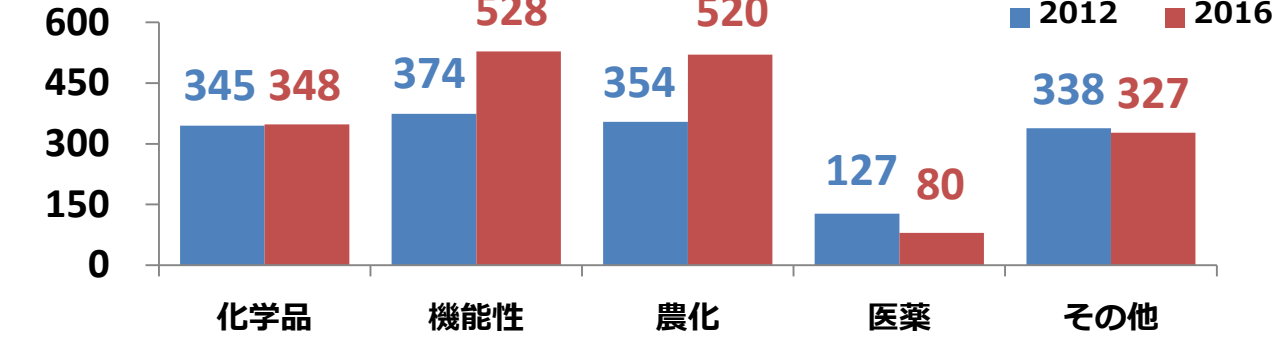
## 2016年度 営業利益・売上高営業利益率





# 当社の事業構成②2012年度と2016年度の比較

売上高 (億円)



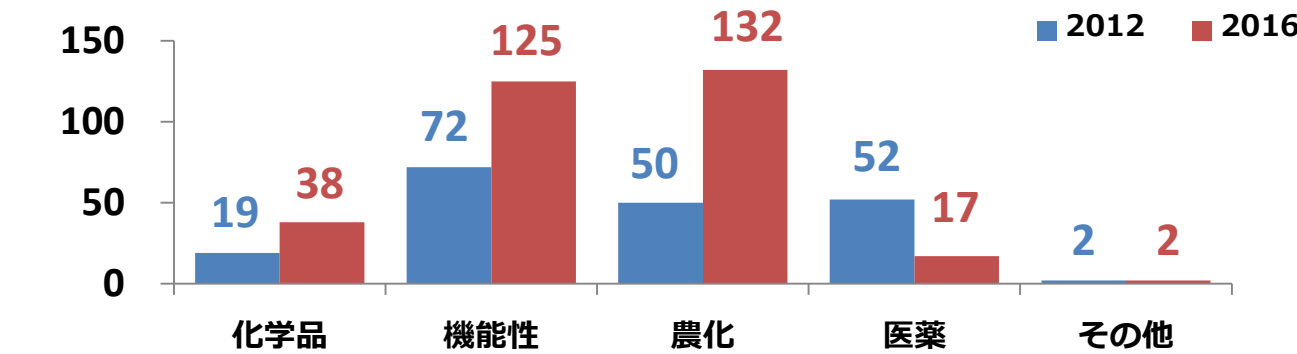
- 化学品
- ・アンモニア
  - ・硫酸系基礎化学品
  - ・ファインケミカル

- 機能性材料
- ・液晶ディスプレイ材料
  - ・半導体材料
  - ・無機コロイド

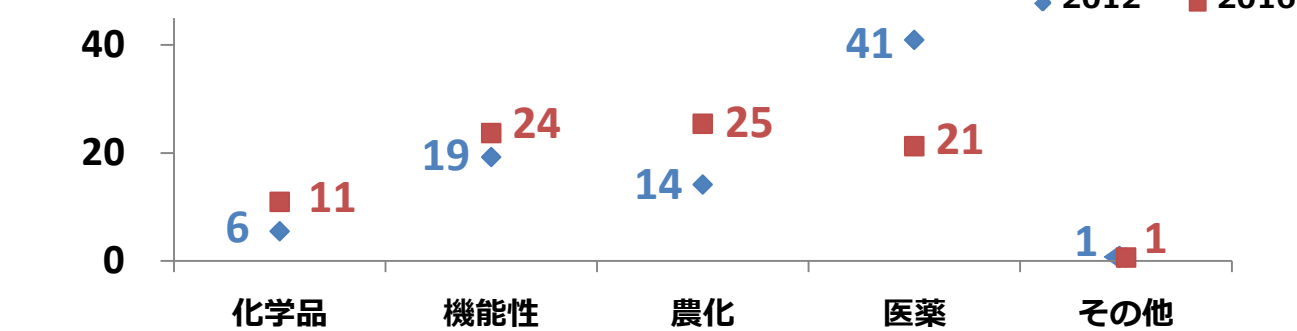
- 農業化学品
- ・農薬
  - ・動物用医薬品

- 医薬品
- ・自社創薬
  - ・原薬開発サポート

営業利益 (億円)

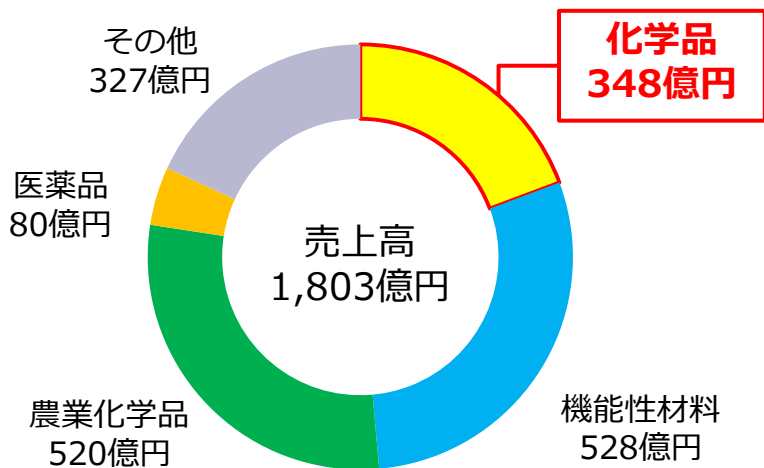


営業利益率 (%)

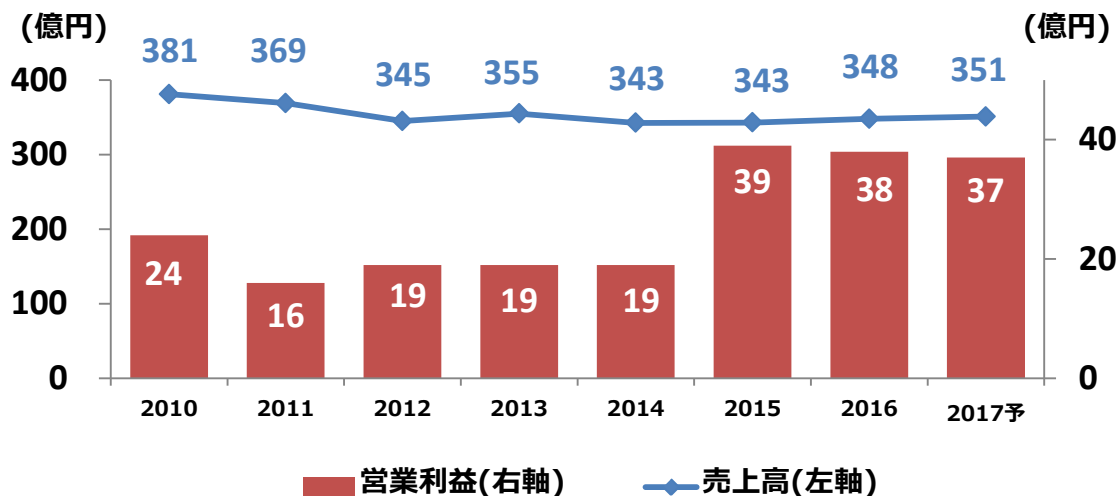


# 化学品セグメント① 業績

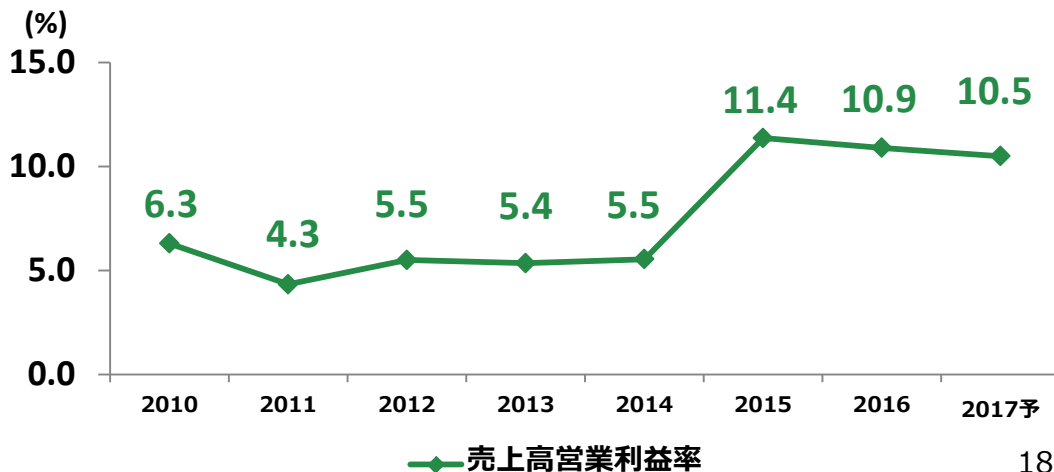
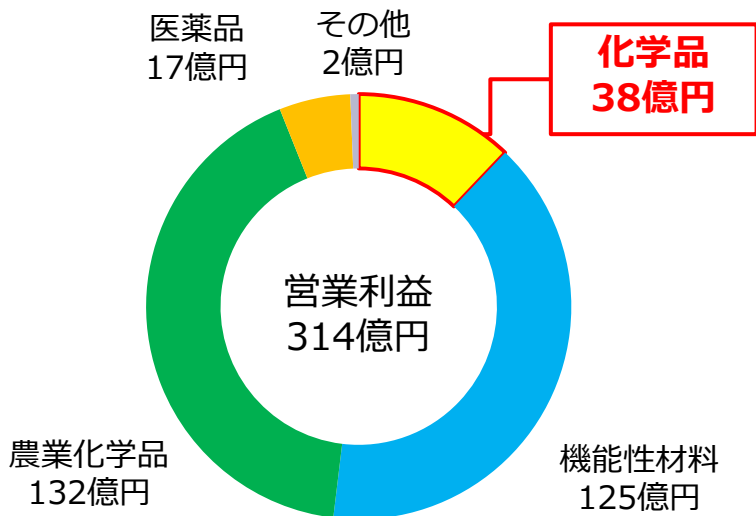
## 1. 2016年度 売上高構成



## 3. 化学品業績推移



## 2. 2016年度 営業利益構成

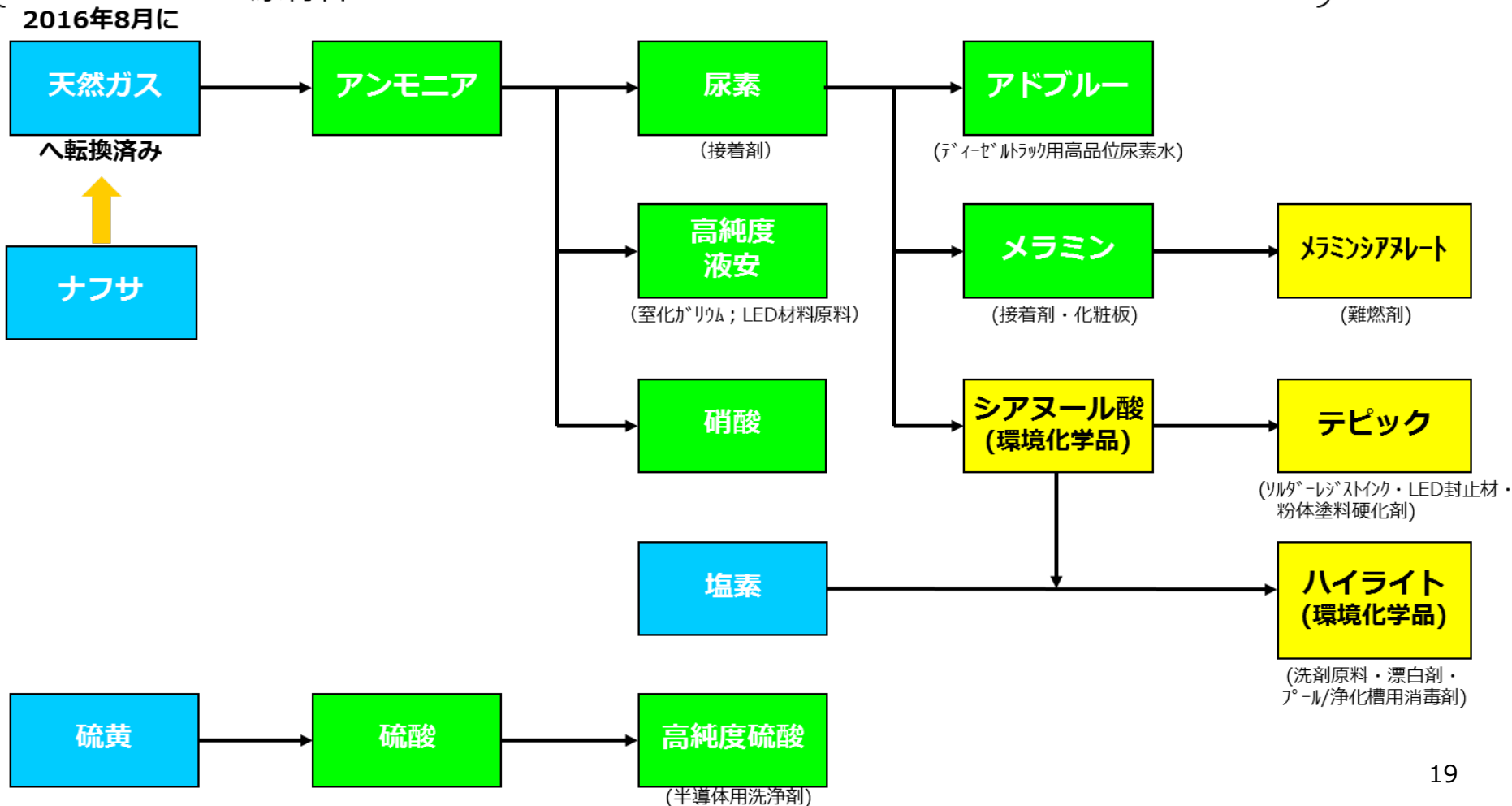


# 化学品セグメント② 主要製品と製造フロー

## ◆アンモニア系製品と硫酸系製品

◆2016年度アンモニア国内生産シェア11%、高い自消率による付加価値向上

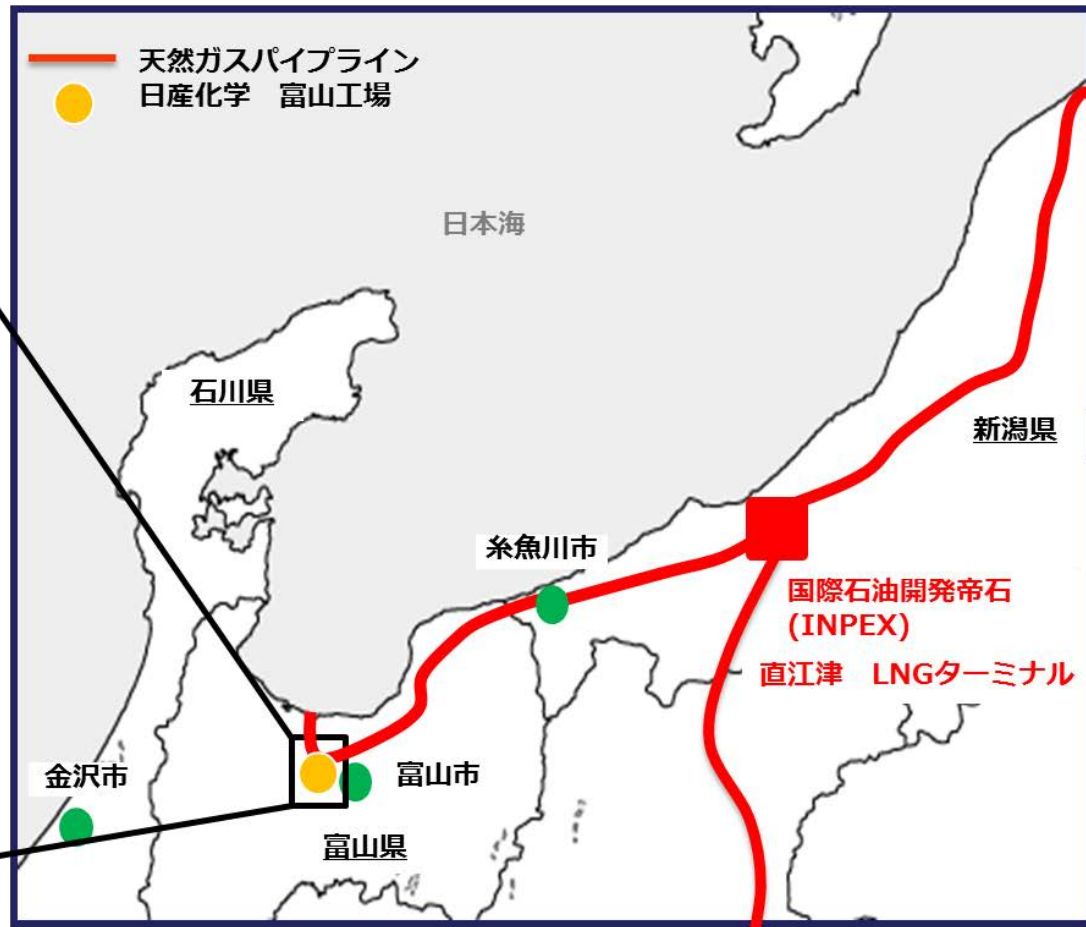
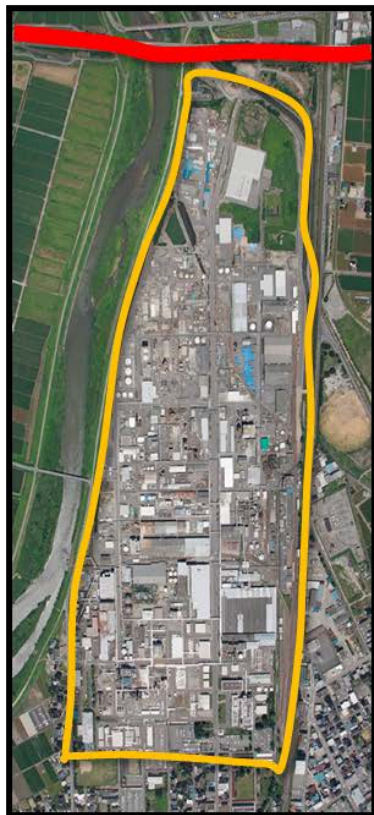
  = 社外調達原材料    
   = 基礎化学品    
   = ファインケミカル



# 化学品セグメント③ アンモニア原料転換プロジェクト

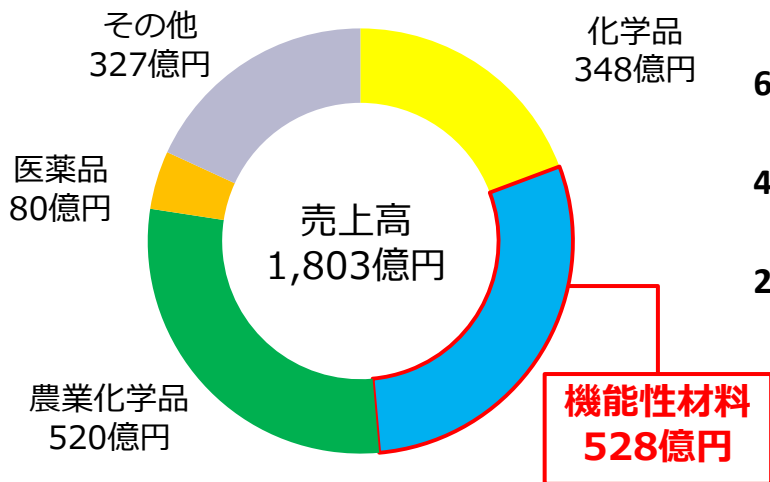
- ◆プロジェクト：富山工場で生産しているアンモニア原料をナフサから天然ガスに転換
- ◆目的：ナフサに比べて価格変動幅が小さい天然ガスを原料とすることで、アンモニア、尿素、メラミンなど各種誘導品の収益安定化を図る
- ◆工事完了時期：2016年8月（予定通り完工済）

— 天然ガスパイプライン  
— 日産化学 富山工場

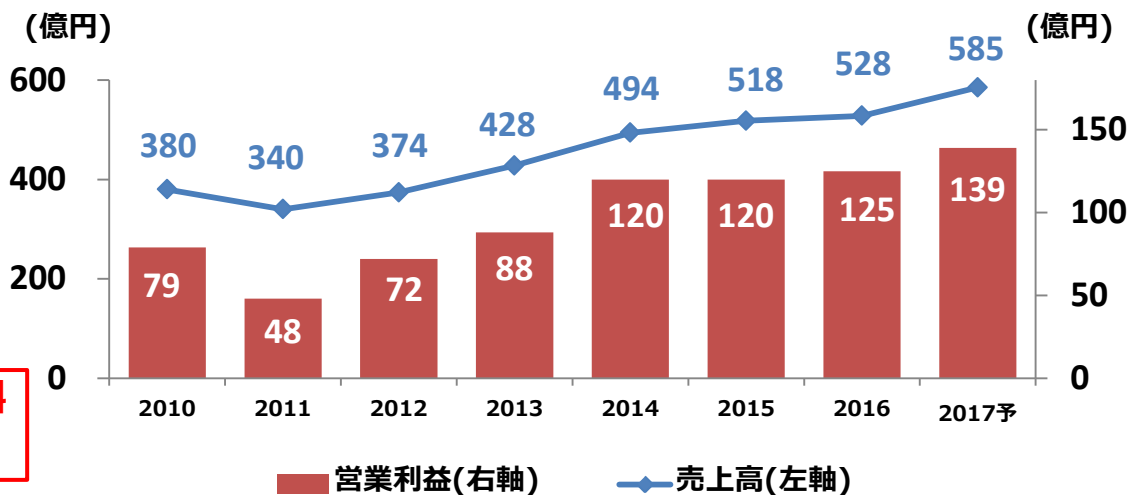


# 機能性材料セグメント① 業績

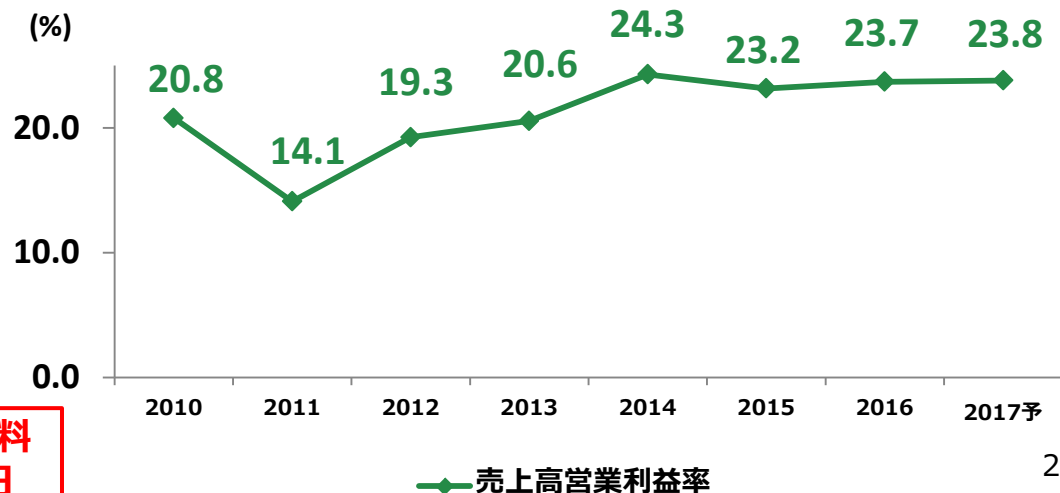
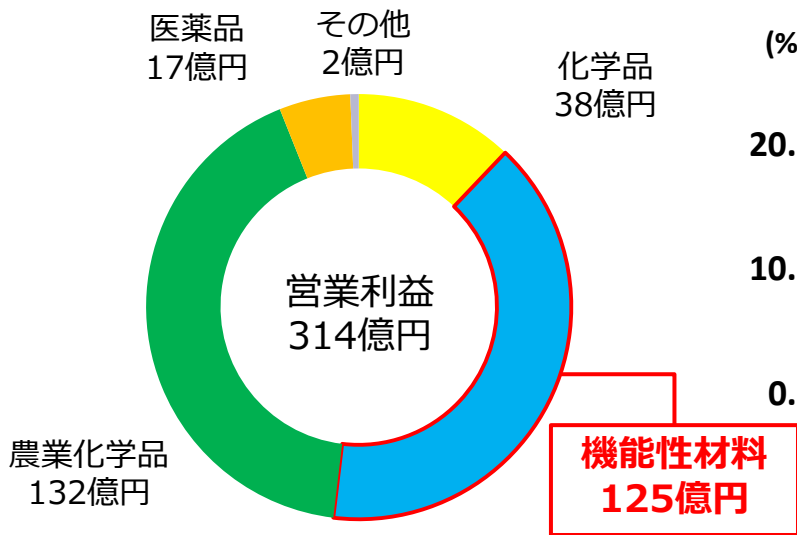
## 1. 2016年度 売上高構成



## 3. 機能性材料業績推移



## 2. 2016年度 営業利益構成



# 機能性材料セグメント② 特徴

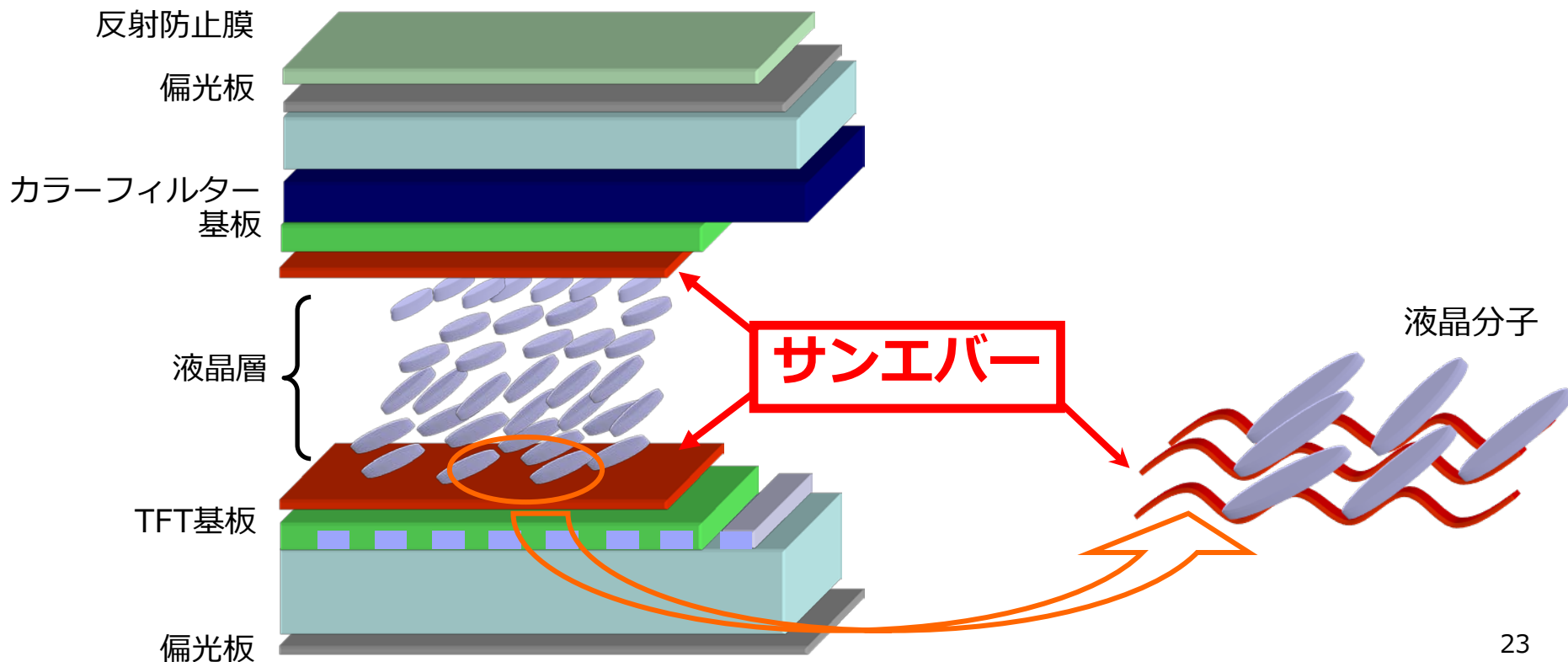
- ◆ 高収益源
- ◆ 世界市場シェアの高い商品を有す
- ◆ 新製品開発力

# 機能性材料セグメント③ 液晶ディスプレイ材料

## ◆液晶ディスプレイ用配向膜 サンエバー

- ・液晶の向き、反応速度、コントラスト、解像度、焼き付きなどを制御する材料
- ・当社とA社が世界二大メーカー
- ・当社は光配向IPS技術を駆使し、スマホ・タブレット向けで優位

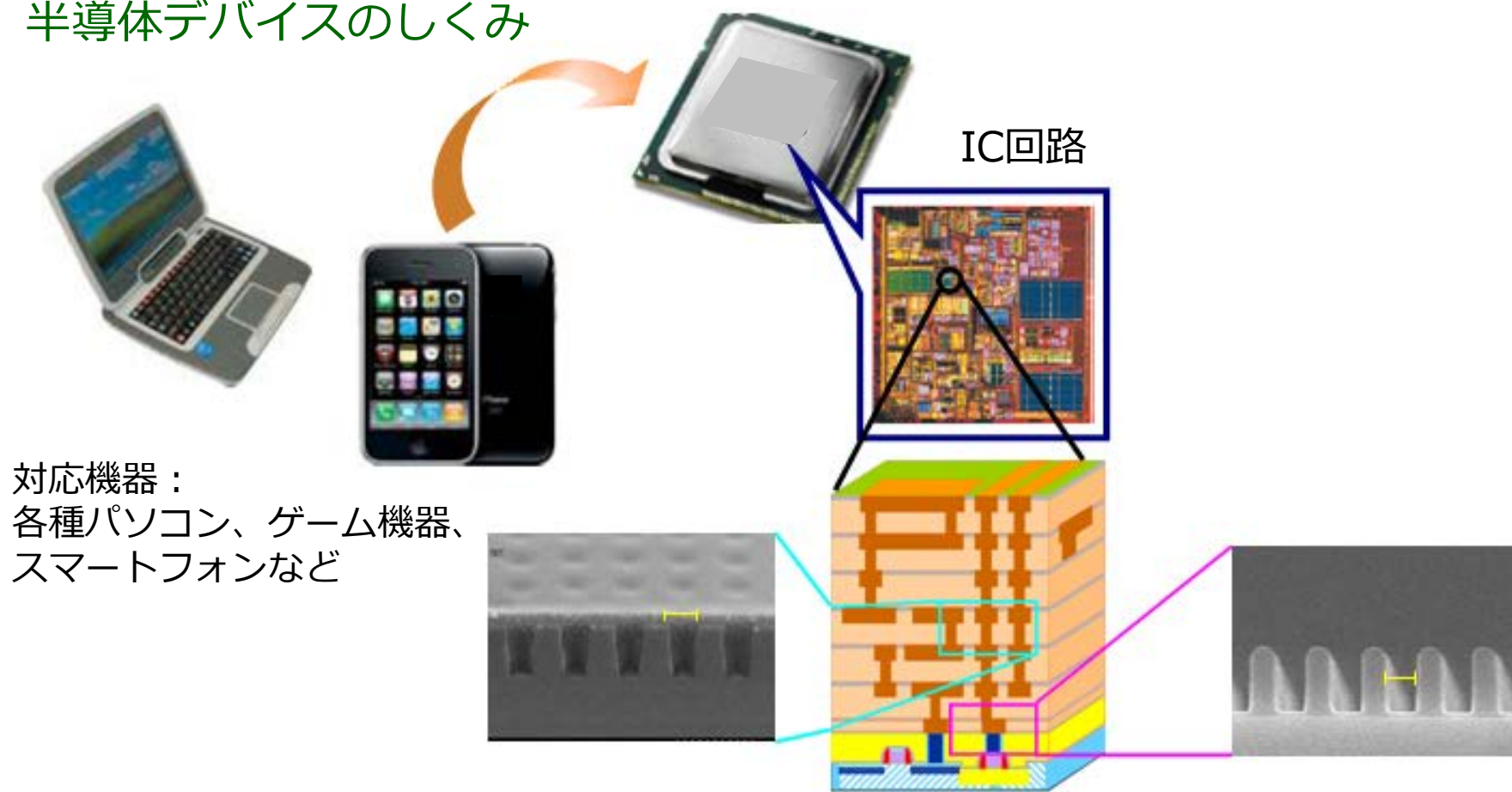
(液晶パネル断面図)



# 機能性材料セグメント④ 半導体材料

## ◆半導体反射防止コーティング材ARC®

半導体デバイスのしくみ



対応機器：  
各種パソコン、ゲーム機器、  
スマートフォンなど

次ページに拡大図



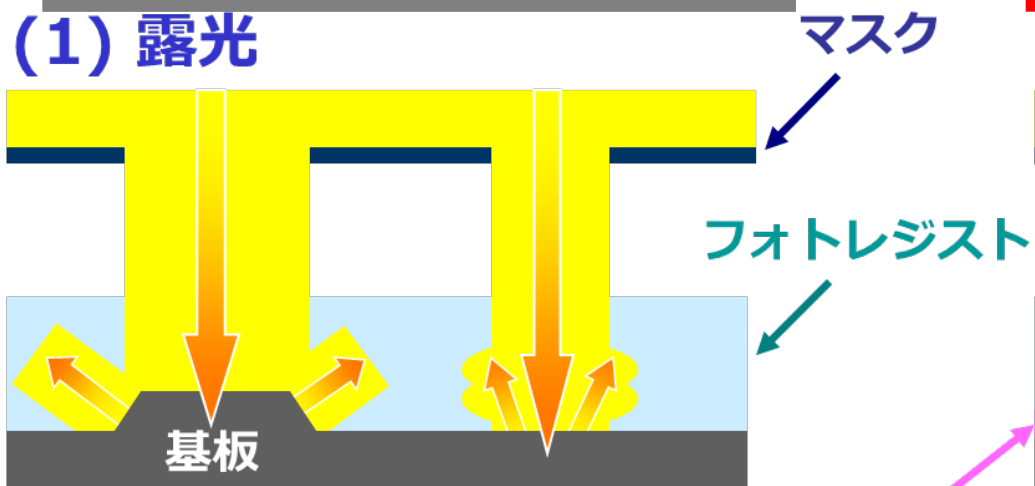
# 機能性材料セグメント⑤ 半導体材料

## ◆半導体反射防止コーティング材ARC®

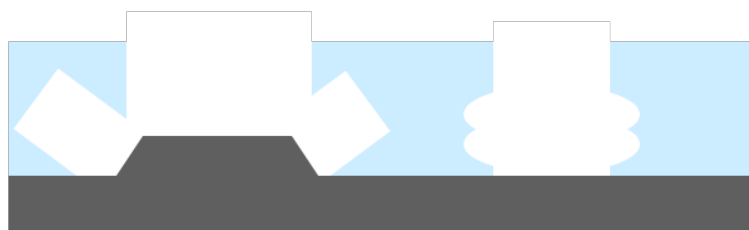
- ・露光時に光の反射を防止することにより、微細なパターン形成を可能とする
- ・当社は、アジアで圧倒的最大のシェアを有する

コーティング材不使用

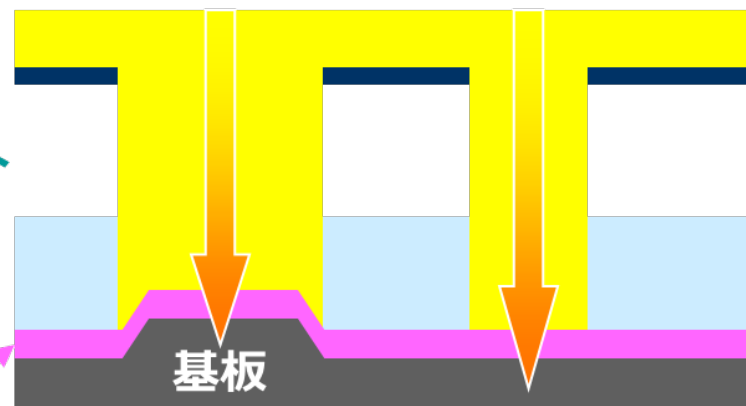
(1) 露光



(2) 現像後

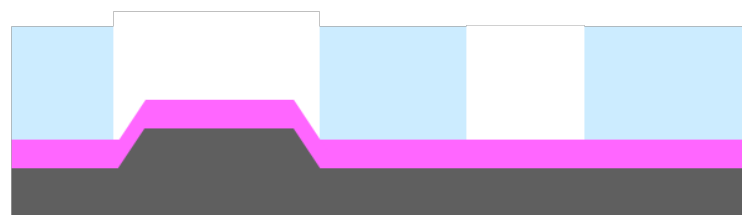


コーティング材使用



反射防止コーティング材

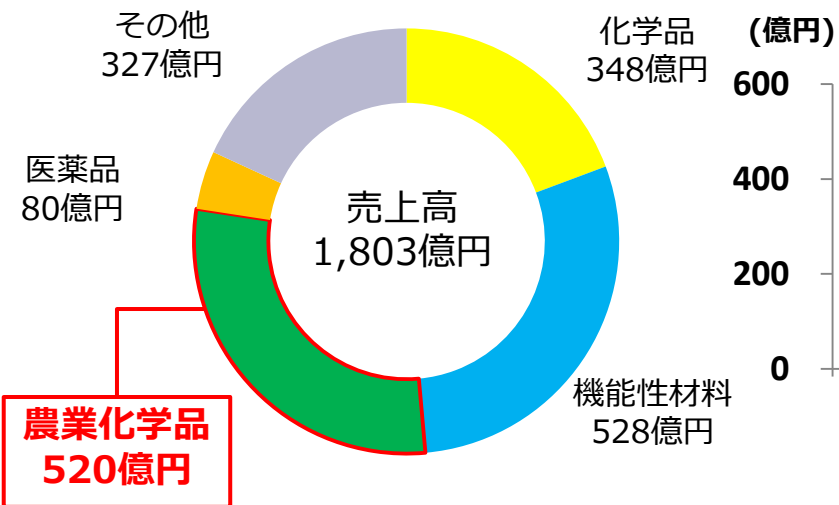
反射しない



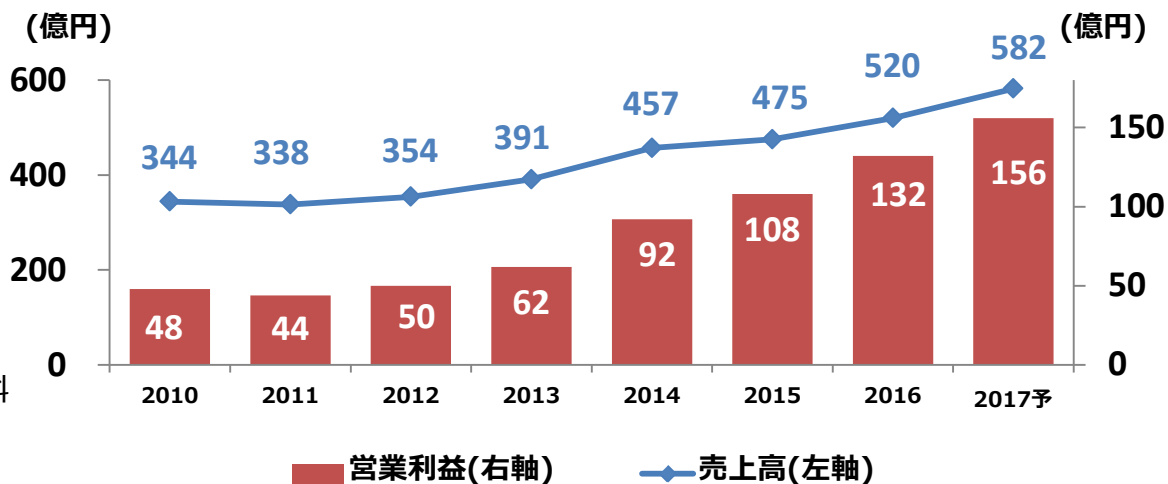
(白紙)

# 農業化学品セグメント① 業績

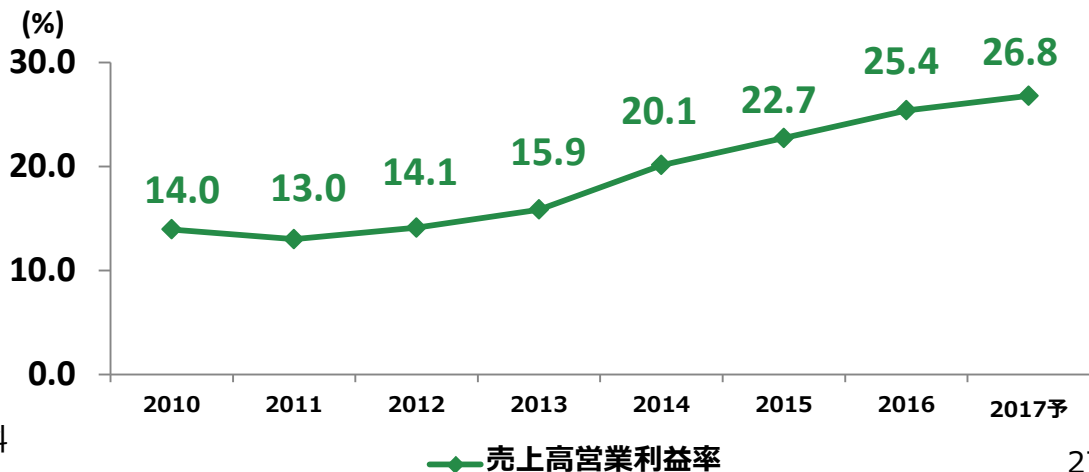
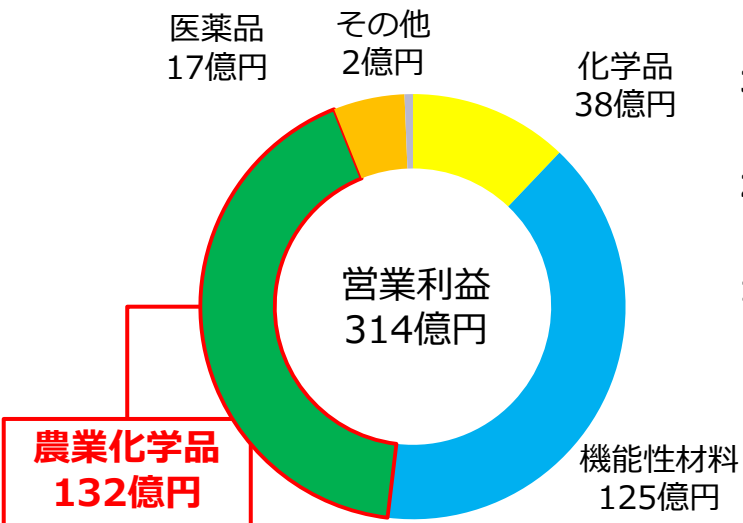
## 1. 2016年度 売上高構成



## 3. 農業化学品業績推移



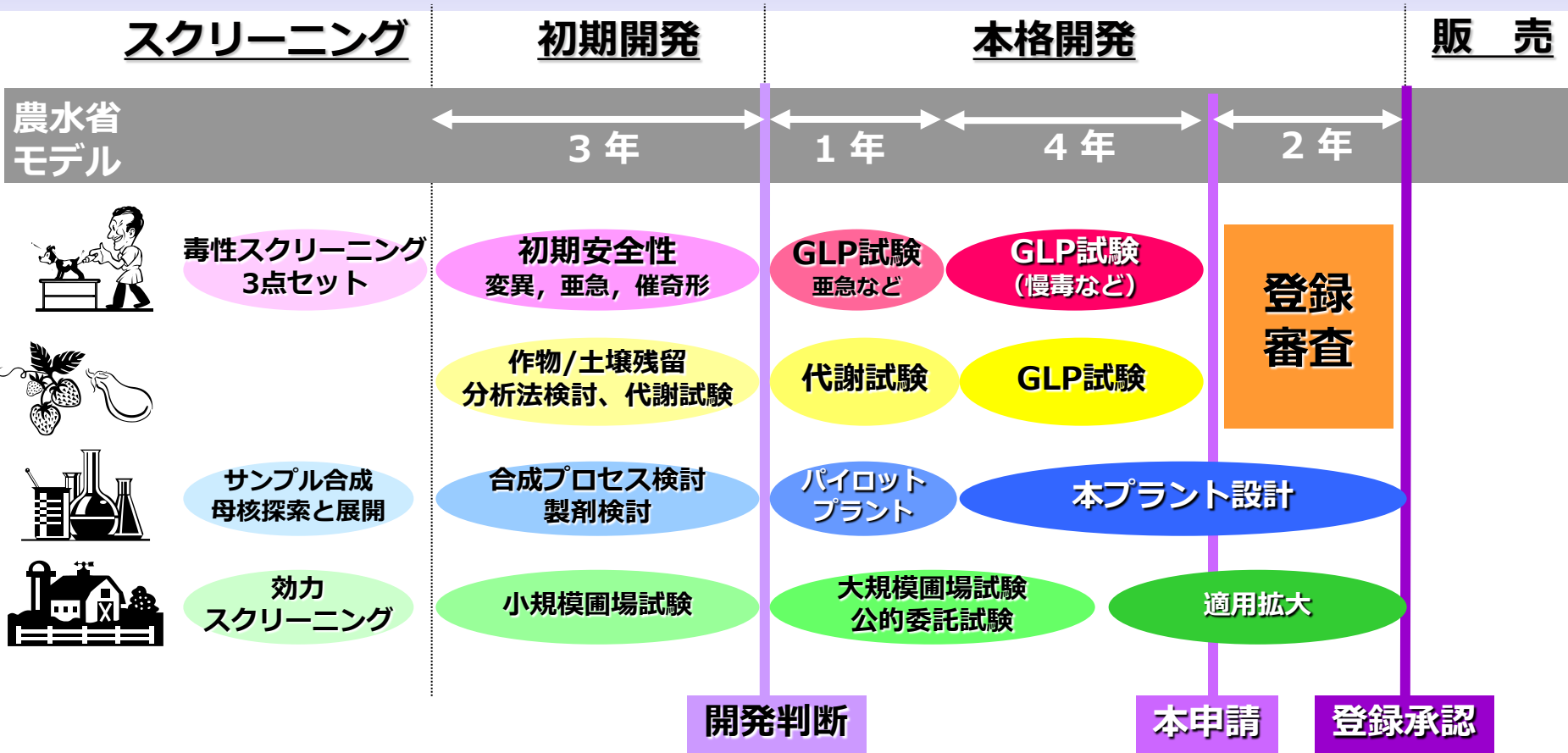
## 2. 2016年度 営業利益構成



## 農業化学品セグメント② 特徴

- ◆ 新剤開発には、長期間、多額の研究開発費を要する
- ◆ 経済変動の影響が小さい安定的事業
- ◆ 当社は2002年以降、自社開発新剤を柱に、  
海外メジャーからの買収・導入剤で戦力強化
- ◆ 現在は、アルテア（水稲用除草剤）、  
ラウンドアップ（非選択性茎葉処理除草剤）、  
フルララネル（動物用医薬品原薬）を  
成長エンジンとして高成長

# 農業化学品セグメント③ 開発スケジュール



(当社開発品の一例、化合物ヒットの確率)

139,429

2

1



開発費100-150億円

# 農業化学品セグメント④ 主要製品

上市年度	製品名	分類	開発経緯	備考
2002	ラウンドアップ <sup>®</sup>	除草剤	買収	米国モンサント社より国内事業を買収、継続成長中
2008	ライメイ	殺菌剤	自社開発	
2008	スターマイト	殺虫剤	自社開発	
2009	パルサー(チフルザミド)	殺菌剤	買収	米国ダウ社より世界事業を買収
2009	プレバソン	殺虫剤	導入	米国デュポン社より導入
2010	ラウンドアップマックスロードAL	除草剤	自社開発	一般家庭向け希釈済みシャワータイプ <sup>®</sup> 除草剤 2016年にはAL II を上市、急成長中
2011	アルテア	除草剤	自社開発	2011年韓国で上市、2012年日本で上市
2013	フルララネル	動物用医薬品原薬	自社開発	米国MSD社*向けに出荷開始
2014	ブラベクト**	ペット動物用医薬品	-	フルララネルを原薬とし、米国メルク社が4月欧州、6月米国で上市
2014	エクシレル/プリロツソ	殺虫剤	導入	米国デュポン社より導入
2015	ブラベクト**	ペット動物用医薬品	-	7月インターベクト社(MSD社の日本法人)が日本で上市
2015	トレファノサイド	除草剤	導入	米国ゴーワン社がダウ社より買収、当社は国内販売独占権を継承
2017	ネクスター	殺菌剤	導入	スイス シンジエンタ社より導入
2017	トランスフォーム/エクシード	殺虫剤	導入	米国ダウ社より導入
2017	エグゾルト**	家畜動物用医薬品	-	9月米国MSD社による、欧州でのニワトリ用製品上市
2019	グレーシア	殺虫剤	自社開発	広範囲の重要害虫に有効。ミツバチへの影響が少ない
2022	未定(ピラプロポイン)	殺菌剤	自社開発	汎用性

\*MSD:米国メルク社のアニマルヘルス事業部門のMSD Animal Health 社の略称

\*\*ブラベクト、エグゾルト:MSD社の販売製品名

# 農業化学品セグメント⑤ 2016年度売上高順位5品目

主要製品名 (2016年度 売上高順)	分類	2016年度 前年同期比 売上高増減 (1)
ラウンドアップ	除草剤	
フルララネル	動物薬	
アルテア	除草剤	
タルガ	除草剤	
パーミット	除草剤	
シリウス	除草	

## 前年同期比売上高増減

+30%~	
+20~+30%	
+10~+20%	
+0~+10%	
-0~-10%	
-10~-20%	
-20~-30%	
-30%~	

(1)単体ベース

# 農業化学品セグメント⑥ アルテア

問題の`根、は、  
地下にありました。

ホタルイや多年生雑草の地上部を枯らすだけでなく、翌年の発生原因となる塊茎の形成も抑えることができる。新成分「アルテア」配合の水稲用除草剤シリーズが新登場。未来につながる雑草防除を、お勧めします。

誕生! 多年生雑草も抑える新成分、「アルテア」配合の除草剤シリーズ。



**ツインスター**  
1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル  
問題雑草に強い  
(アルテア+タイムロン)

**月光**  
1キロ粒剤/フロアブル  
ノビエにより長く  
(アルテア+カエン/スロール+タイムロン)

**銀河**  
1キロ粒剤/ジャンボ  
抵抗性雑草\*により強く  
(アルテア+タイムロン+ピラクロニル)

**コメット**  
1キロ粒剤/ジャンボ/履靴  
抵抗性雑草\*に効果アップ  
(アルテア+テフルメトロン+ピラクロニル)



## ◆アルテア

- ・ホタルイやカヤツリグサ科多年生雑草に卓効を示す広スペクトラム除草剤
- ・従来のスルホニルウレア系除草剤に抵抗性を示す雑草にも有効
- ・日本、韓国、中国で販売中



# 農業化学品セグメント⑦ フルララネル

## ◆フルララネル (Fluralaner)

- ブラベクト・エグゾルトの有効成分
- 当社が動物用医薬品原薬として開発し、MSD社に供給している。



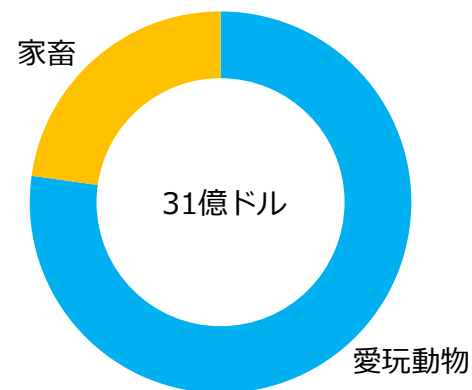
## ◆ブラベクト (BRAVECTO)

- MSD社が開発したペット用外部寄生虫薬で、犬・猫のノミ、マダニに対し即効性に優れている。
- さらに、殺虫効果の持続期間が、既存製品の通常1ヶ月に対し、12週間と極めて長い。
- 既存製品の多くは経皮投与製剤だが、ブラベクトは経口投与製剤で使いやすい。
- 現在85か国以上で発売中
- 犬向けチュアブルタブレット（経口投与製剤）
  - 2014年4月 EU
  - 2014年6月 米国
  - 2015年7月 日本
- 犬、猫向けスポットオン製品（経皮投与製剤）
  - 2016年7月 EU（猫）
  - 2016年12月 米国（猫）
  - 2017年1月 米国・ドイツ・オーストリア（犬）

## ◆エグゾルト (EXZOLT)

- MSD社が開発した鶏向けワクモ駆除剤（飲水投与）
  - 2017年9月 欧州

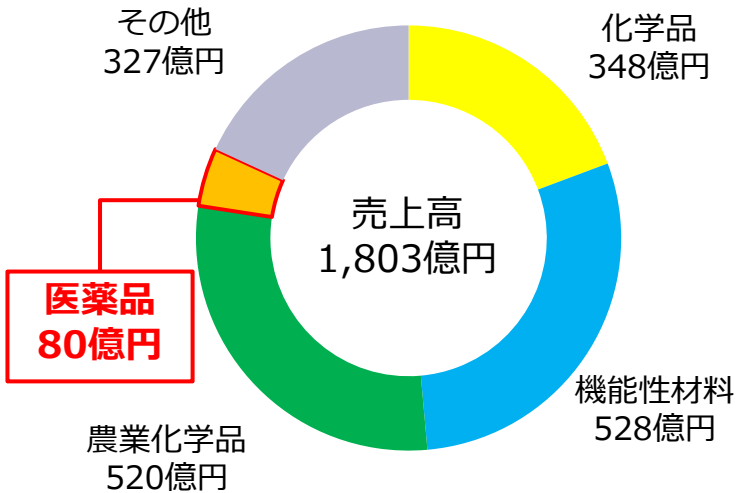
2015年 世界外部寄生虫薬  
市場規模推定



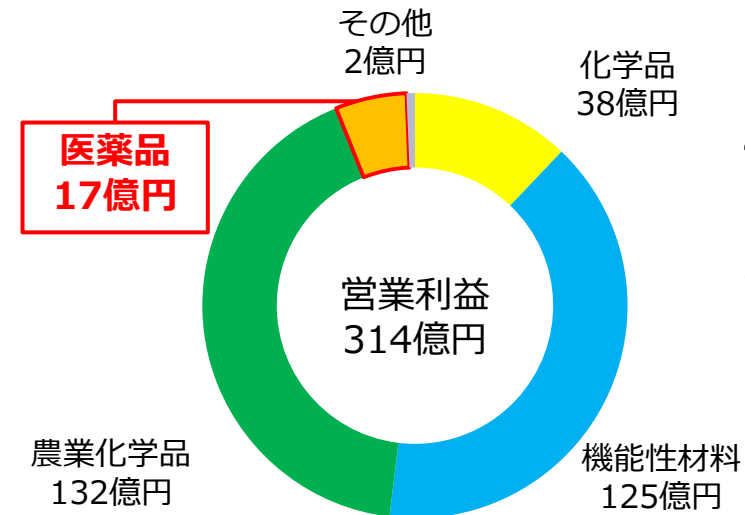
(白紙)

# 医薬品セグメント① 業績

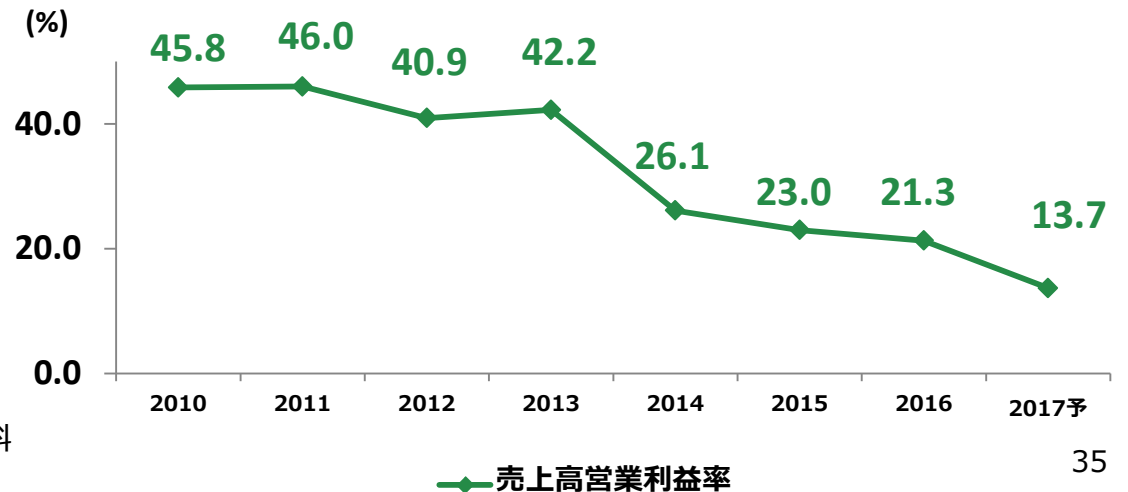
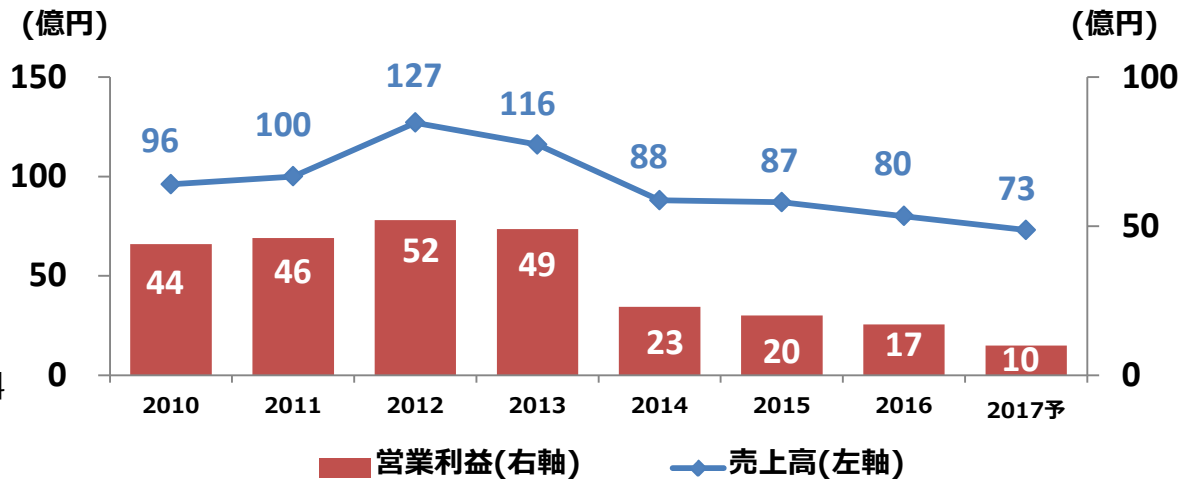
## 1. 2016年度 売上高構成



## 2. 2016年度 営業利益構成

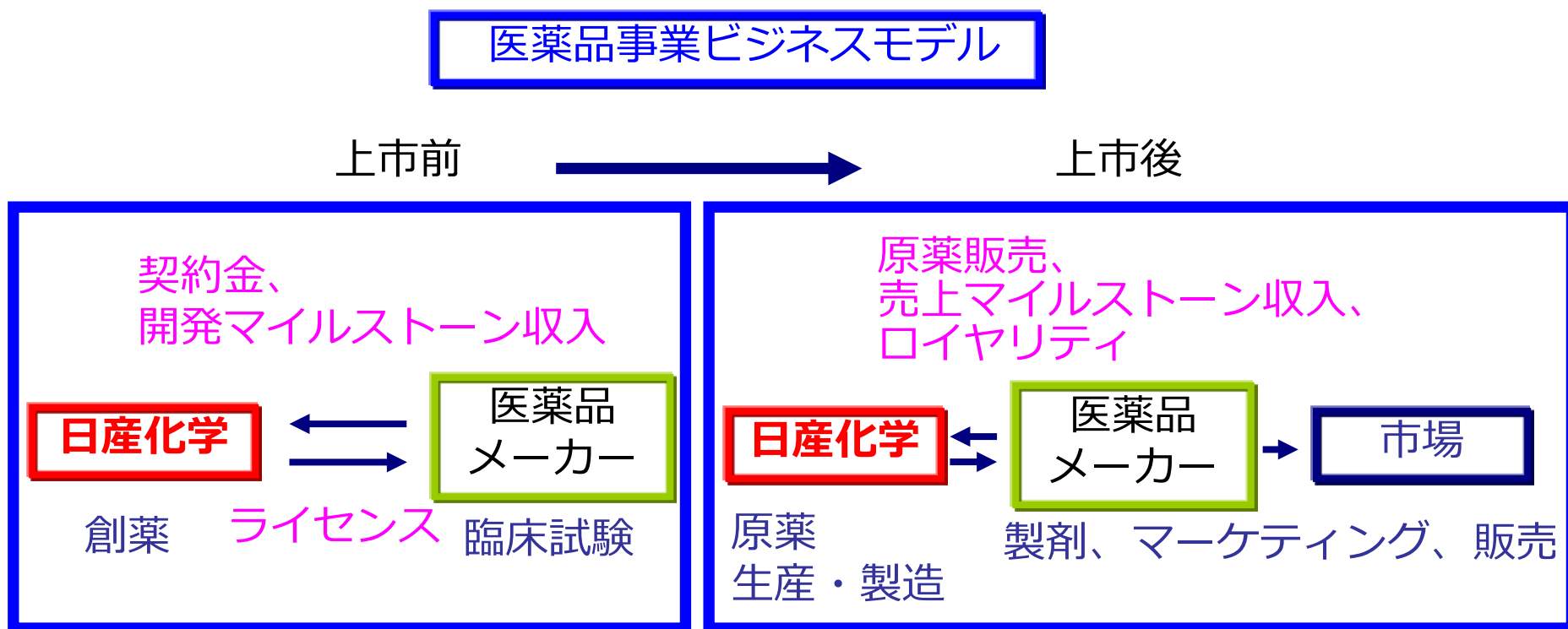


## 3. 医薬品業績推移



# 医薬品セグメント② ビジネスモデル

- ◆ 創薬、原薬製造に特化
- ◆ 販売部門を有さないユニークな医家向けビジネスモデル



# 医薬品セグメント③ リバロ

## ◆リバロ

	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 予想
国内末端売上高（薬価ベース、億円）	526	345	297	239	-
当社原薬売上高（国内外合計、億円）	102	69	58	52	46
当社原薬売上高 前年同期比成長率 （うち国内）	-2% (-2%)	-32% (-46%)	-15% (-27%)	-11% (-42%)	-12% (-70%)

- ・ 高コレステロール血症治療薬で、日本では興和創薬(株)様から発売
- ・ 2013年8月 国内化合物特許満了
- ・ 現在25か国で販売中

# 医薬品セグメント④ パイプライン

開発品	作用機序	適応症候補	パートナー
NIP-022	・トロンボポエチン (TPO) 受容体活性化	・血小板減少症	・小野薬品工業とのライセンス契約終了 (2014/4) ・ヤクト本社とライセンス契約締結 (2015/10) ・健常成人に対する国内第 I 相臨床試験を終了(2017/7)

- ◆2016年1月 塩野義製薬様と新規抗真菌薬創製を目指した共同研究契約締結
- ◆2017年3月 田辺三菱製薬様と新規自己免疫疾患治療薬創製を目指した共同研究契約締結
- ◆2017年4月 塩野義製薬様と新規抗疼痛薬創製を目指した共同研究契約締結

## ◆新規テーマ：

戦略的に構築した化合物ライブラリー、精密有機合成力などの強みを活かし、循環器疾患領域、神経疾患領域での創薬を目指す

# 医薬品セグメント⑤ ファインテック

## ◆原体・中間体の製造

(前臨床から商業生産までの原体・中間体の製造、GMP\*適合下での製造)

スケールアップ可能な製造法を確立し、原薬・中間体を製造

\*GMP…医薬品の製造管理および品質管理の基準

## ◆プロセス研究 (合成ルート探索、反応条件最適化、スケールアップ研究)

定量的な反応解析や各操作での安全性データを取得し、

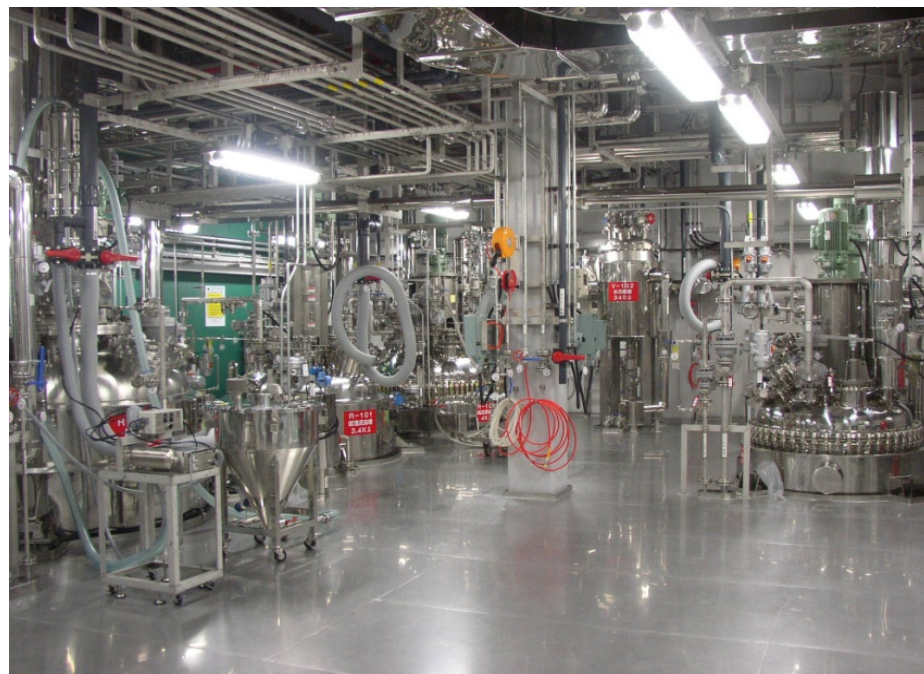
スケールアップ可能な製造法を確立

## ◆ジェネリック分野への原薬供給

これまでに蓄積した高活性原薬の取り扱い

技術や、高度な精製設備の活用により、

少量高活性原薬を開発・販売



(白紙)



# 新中期経営計画 Vista2021 (2016-2021)(2016年5月発表)

## ①数値目標 (PL)

1. PL (億円)	実績	予想 (2017.11.6発表)	中計 (2016.5.12発表)		
	2016	2017	2016	2018	2021
売上高	1,803	1,920	1,875	2,170	2,500
営業利益	314	345	297	350	400
経常利益	317	361	304	356	408
当期純利益	240	270	230	271	310
売上高 営業利益率	17.4%	18.0%	15.8%	16.1%	16.0%
ROE	15.1%	15.9%	14.3%	14%以上	14%以上
配当性向	33.1%	36.8%	33.3%	40%	40%
株主 総還元性向	70.4%	70.0%	70%維持	70%維持	70%維持

(諸元)

為替レート (円/ドル)	上105/下112	上111/下112	2016年度以降	115
ナフサ (円/kl)	上31,400/下38,200	上37,700/下36,500	35,400	2017年度以降 51,100

# 新中期経営計画 Vista2021 (2016-2021)(2016年5月発表)

## ②数値目標 (セグメント)

### 2. セグメント (1)

(億円)

	売上高		営業利益		中計 (2016.5.12発表)					
	実績	予想 (2017.11.6 発表)	実績	予想 (2017.11.6 発表)	売上高			営業利益		
	2016	2017	2016	2017	2016	2018	2021	2016	2018	2021
化学品	348	351	38	37	354	380	405	49	40	45
機能性材料	528	585	125	139	553	680	829	117	154	184
農業化学品	520	582	132	156	521	586	670	113	129	167
医薬品	80	73	17	10	74	81	83	14	20	24
卸売・ その他・調整	327	329	2	3	373	443	513	4	7	-20
<b>合計</b>	<b>1,803</b>	<b>1,920</b>	<b>314</b>	<b>345</b>	<b>1,875</b>	<b>2,170</b>	<b>2,500</b>	<b>297</b>	<b>350</b>	<b>400</b>

(1) 売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む

## ③ターゲットとする経営指標

- ◆ 売上高営業利益率
  - － 15%以上維持
- ◆ ROEを継続して最重視
  - － 14%以上維持
- ◆ 配当性向
  - － 現状実績30%から段階的に引き上げ、2018年度以降40%
- ◆ 株主総還元性向
  - － 70%維持（新規に目標設定）
- ◆ 高付加価値、研究開発型企业
  - － 売上高研究開発費比率 8%以上

④2021年のあるべき姿

情報通信およびライフサイエンス事業が成長を牽引し、  
化学品と関係会社が安定的な収益を確保している

環境エネルギー事業の礎を築き、常に前進する将来性と  
存在感のある化学メーカーとしての地位を確立している

# 新中期経営計画 Vista2021 (2016-2021)(2016年5月発表)

## ⑤Stage I (2016-2021)における成長の源泉

売上高増加額は、新中計策定時点での予想

売上高増加額 (2018 vs 2015)		10億円未満	10億円以上30億円未満	30億円以上
機能性材料	化学品	アドブルー 高純度アンモニア	テピック	
	ディスプレイ		VA	光IPS
	半導体	3次元実装材料(TMAT) 新規リソグラフィ材料	半導体反射防止コーティング材 (ARC®) 半導体多層材料	
	無機		オイル&ガス材料	
新材料		有機EL関連材料 調光フィルム材料		
		イメージセンサー向材料 ハイパーテック		
農業化学品	新規殺虫剤 (自社) 新規導入品	ラウンド アップ アルテア	フルララネル 海外	
医薬品	リバロ(海外) ファインテック 新剤導出・パイプライン充実			
新製品	その他新製品			

# 新中期経営計画 Vista2021 (2016-2021)(2016年5月発表)

## ⑥Stage I (2016-2021)におけるStage II以降に向けた取り組み

情報通信

新製品の開発:

- ・耐熱レンズ
- ・調光フィルム
- ・光配線材料

次世代ディスプレイ材料の創出

次世代半導体材料の創出

サイエンス  
ライフ

新剤の開発:

- ・殺虫剤NC-515
- ・新規殺菌剤
- ・新規水稲用除草剤

血小板増加薬NIP-022の開発

抗真菌薬の共同研究推進

細胞培養材料のグローバルスタンダード化

エネルギー  
環境

新製品の開発:

- ・2次電池・燃料電池材料

環境発電材料の創出

研究  
開発

生体材料分野におけるシーズ獲得

# (参考) セグメント別売上高、営業利益推移

(億円)

		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017予想
売上高 (1)	化学	381 24.7%	369 24.8%	345 22.4%	355 21.7%	343 20.0%	343 19.4%	348 19.3%	351 18.3%
	機能	380 24.6%	340 22.9%	374 24.3%	428 26.1%	494 28.9%	518 29.3%	528 29.3%	585 30.5%
	農化	344 22.3%	338 22.7%	354 23.0%	391 23.9%	457 26.7%	475 26.9%	520 28.8%	582 30.3%
	医薬	96 6.2%	100 6.7%	127 8.3%	116 7.1%	88 5.1%	87 4.9%	80 4.4%	73 3.8%
	卸売	441 28.6%	448 30.1%	466 30.3%	507 31.0%	544 31.8%	556 31.4%	552 30.6%	603 31.4%
	他	270 17.5%	200 13.5%	212 13.8%	214 13.1%	209 12.2%	209 11.8%	240 13.3%	214 11.1%
	調整	-370 -24.0%	-309 -20.8%	-340 -22.1%	-374 -22.8%	-423 -24.7%	-419 -23.7%	-465 -25.8%	-488 -25.4%
	合計	1,542 100%	1,486 100%	1,538 100%	1,637 100%	1,712 100%	1,769 100%	1,803 100%	1,920 100%

営業利益 (2)	化学	24 12.1%	16 10.3%	19 9.7%	19 8.6%	19 7.5%	39 13.6%	38 12.1%	37 10.7%
	機能	79 39.9%	48 31.0%	72 36.9%	88 39.6%	120 47.4%	120 42.0%	125 39.8%	139 40.3%
	農化	48 24.2%	44 28.4%	50 25.6%	62 27.9%	92 36.4%	108 37.8%	132 42.0%	156 45.2%
	医薬	44 22.2%	46 29.7%	52 26.7%	49 22.1%	23 9.1%	20 7.0%	17 5.4%	10 2.9%
	卸売	14 7.1%	13 8.4%	14 7.2%	15 6.8%	17 6.7%	18 6.3%	17 5.4%	20 5.8%
	他	10 5.1%	3 1.9%	7 3.6%	8 3.6%	6 2.4%	5 1.7%	10 3.2%	7 2.0%
	調整	-21 -10.6%	-15 -9.7%	-19 -9.7%	-19 -8.6%	-24 -9.5%	-24 -8.4%	-25 -8.0%	-24 -7.0%
	合計	198 100%	155 100%	195 100%	222 100%	253 100%	286 100%	314 100%	345 100%

(1)2010-2011：旧セグメント, 2012-：新セグメント

(2)売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

# (参考) セグメント別売上高営業利益率推移

		2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017予想
売上高営業利益率	化学	6.3%	4.3%	5.5%	5.4%	5.5%	11.4%	10.9%	10.5%
	機能	20.8%	14.1%	19.3%	20.6%	24.3%	23.2%	23.7%	23.8%
	農化	14.0%	13.0%	14.1%	15.9%	20.1%	22.7%	25.4%	26.8%
	医薬	45.8%	46.0%	40.9%	42.2%	26.1%	23.0%	21.3%	13.7%
	卸売	3.2%	2.9%	3.0%	3.0%	3.1%	3.2%	3.1%	3.3%
	他	3.7%	1.5%	3.3%	3.7%	2.9%	2.4%	4.2%	3.3%
	合計	12.9%	10.4%	12.7%	13.6%	14.8%	16.2%	17.4%	18.0%



# (参考) 主要製品、用途①

セグメント	製品名	主用途
化学品	<p>◆ファインケミカル</p> <p>テック メラミンシアレート ハイライト</p> <p>◆基礎化学品</p> <p>メラミン 尿素、アトブルー 高純度硫酸 アンモニア、硫酸、硝酸</p>	<p>エポキシ樹脂： ソルダレジストインク材料、LED封止材材料、粉体塗料硬化剤 難燃剤</p> <p>塩素化イソシアヌル酸： フォール、浄化槽用殺菌消毒剤</p> <p>合板用接着剤 アトブルー（ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水） 半導体用洗浄剤</p>
機能性	<p>◆電子材料</p> <p>サンバー ARC® (KrF、ArF) OptiStack® (多層材料) NHC OPTIFOCUS エルソス</p> <p>◆無機コロイド材料</p> <p>スノーテックス オルガノゾル・モノゾル アルミナゾル サンコイド セルナックス</p>	<p>液晶配向材用ホリミッド 半導体用反射防止コーティング材、半導体用多層プロセス材料 (Si-HM、SOC) *ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc. の登録商標</p> <p>タッチパネル用絶縁膜 イメージセンサー用マイクロレンズ材料 有機EL用塗布型ホール注入材</p> <p>コロイダルシリカ： シリコンウェハー・アルミ、ガラスハードディスク研磨剤、 特殊鋼板、脱硝触媒、電子機器、紙・繊維表面処理</p> <p>有機溶媒・モノマー分散シリカゾル： フィルム表面処理、電子機器、樹脂添加剤 自動車用触媒、電子機器 眼鏡レンズ用高屈折率ゾル フィルム用帯電防止</p>

# (参考) 主要製品、用途②

セグメント	製品名	主用途
農化	<p>◆ 除草剤</p> <p>タカ パ-ミット シウス ラウンドアップ アルテア</p> <p>◆ 殺虫剤</p> <p>サンイト、マイトコーネ、スターマイト</p> <p>◆ 殺菌剤</p> <p>ハルサー、イカルガ、グレートム (チフルザミド)</p> <p>ライメイ</p> <p>◆ 動物薬</p> <p>フルラネル</p>	<p>大豆、なたね、てんさい とうもろこし、さとうきび、米 米 非選択性茎葉処理除草剤： 非農耕地、果樹園 米</p> <p>果樹、かんきつ、茶、野菜</p> <p>芝、稲、ばれいしょ</p> <p>野菜</p> <p>ハット用外部寄生虫薬ブラベクト、鶏用ワケモ駆除剤EXZOLT原薬</p>
医薬	<p>リハロ ファインテック</p>	<p>高コレステロール血症治療薬 医薬品研究開発参加型事業</p>
卸売	日星産業	
その他	物流、緑化、エンジニアリング、肥料	

# (参考) IRホームページのご紹介

[http://www.nissanchem.co.jp/ir\\_info/index.html](http://www.nissanchem.co.jp/ir_info/index.html)

IR情報ページでご覧いただける主な情報

- IR新着情報
- 日産化学ってどんな会社？
- 経営方針
- 業績・財務情報
- IR資料室
- 株式情報
- IRカレンダー
- 株価情報
- 最新資料ダウンロードなど

The screenshot shows the IR information page of Nissanchem. At the top, there is a navigation bar with the company logo (日産化学工業株式会社) and various menu items like 'ホーム', '会社情報', '事業・製品', '研究開発', 'IR情報', 'CSR情報', and '採用情報'. The main heading is 'IR情報' with a sub-message: '投資家の皆様へ もっと日産化学を知っていただくために'. Below this, there are three featured sections: '日産化学ってどんな会社？', '社長メッセージ', and '長・中期経営計画'. A section for 'IR新着情報' lists recent updates with dates and titles, such as '2018年3月期 第2四半期 決算説明会音声配信'. On the right, there is an 'IRカレンダー' section showing the date '2018年2月2日 (金) 15:00' and '2018年3月期第3四半期決算発表予定'. Below that is a '株価情報' section with a line graph showing stock price trends from 10/2 to 11/1, and a table of financial metrics: 配当利回り (予想) 1.47%, 単元株数 100株, PER (予想) 25.00倍, 最低購入代金 448,000, and PBR (実績) 時価総額.

# 免責事項

本資料に記載されている将来の当社事業に関する見通しは、資料作成時点で入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、将来の当社業績を保証するものではありません。様々な不確実要素により、実際の業績は予測と大きく異なる結果になる可能性があります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断で行われるようお願いいたします。